



ihiTM WebFOCUS[®]

リリースノート/新機能ガイド

バージョン 9.2 | September 2023

目次

1. バージョン 9.2.1 リリースガイド	5
バージョンおよびビルド情報	5
修正済み問題	5
2. バージョン 9.2.0 リリースガイド	13
バージョンおよびビルド情報	13
新機能	13
ホワイトラベルによる ibi™ WebFOCUS® ユーザインターフェース外観のカスタマイズ...	13
フィルタリストの項目数を制御する機能.....	15
日付選択カレンダーの表示を簡素化する機能.....	16
ビジュアライゼーションの初期自動ロード機能を構成する機能.....	17
ibi™ Data Migrator の機能強化.....	18
EXASol Server および SQL 自動パススルー (APT) 設定の強化.....	19
修正済み問題	19
アップグレードに関する注意事項	33
既知の問題	37
3. リリース情報	39
ブラウザ情報	39
ibi WebFOCUS のアクセシビリティ準拠	43
アクセシビリティのサポート基準.....	43
適合ステータス.....	44
アクセシビリティ機能の範囲.....	45
テクノロジー仕様.....	46
制限事項.....	46
ibi™ WebFOCUS Client でサポートされるオペレーティングシステム	47
ibi WebFOCUS での Java Platform、Standard Edition (Java SE) のサポート	48
サポート対象の Web サーバおよび Application Server	49
WebFOCUS Client リポジトリでサポート対象の RDBMS およびドライバ	50
ローカリゼーション (NLV) および NLS の制限事項	53
国際言語サポート (NLS).....	53

ローカライズ版のサポート (NLV).....	53
ibi WebFOCUS および ibi WebFOCUS Reporting Server.....	53
言語.....	55
ibi WebFOCUS Client および ReportCaster.....	56
ibi WebFOCUS レポート および Microsoft Office のサポート	57
TIBCO WebFOCUS レポートフォーマットおよび Microsoft 製品との関連付け.....	57
TIBCO WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマットおよび Microsoft Office 製品のサポート	58
Microsoft Office 2003 のサポート.....	58
TIBCO WebFOCUS EXL2K および PPT フォーマットと Microsoft Office Viewer 製品のサ ポート.....	59
Microsoft Office 365 のサポート.....	59
ハイパーリンクを使用してレポートを実行する際の注意事項.....	60
TIBCO WebFOCUS の DOC フォーマット.....	60
Legal and Third-Party Notices	61

1

バージョン 9.2.1 リリースガイド

ここでは、WebFOCUS の上記バージョンについて、必要な最新情報を提供します。

このマニュアルのオンラインバージョンおよびこのバージョンについての詳細は、[TIBCO WebFOCUS 製品ドキュメントサイト](#)にアクセスし、[Documentation] タブから製品グループへのリンクを選択してください。

トピックス

- ❑ [バージョンおよびビルド情報](#)
- ❑ [修正済み問題](#)

バージョンおよびビルド情報

リリース日	ビルド番号	Reporting Server
2023 年 7 月	wf072523a	921 Gen 2758
	wi072523a	
	as072423a	

修正済み問題

- ❑ AHTML レポートのスタイルシートで HFREEZE ON が使用されている場合、リストツール機能を使用すると、表示されるソート順序が正しくなりません。(02173662)
- ❑ Active Report を日付時間フィールドでソートすると、正しい結果が表示されない場合があります。(02150480)
- ❑ Designer のプレビューモードで列グループ (ACROSS) を使用すると、条件付きスタイルが正しく表示されません。(02176377)
- ❑ WebFOCUS バージョン 9.0.4 から 9.1.1 にアップグレード後、V4 ポータルが正しく表示されません。(02178734)

- ❑ オートプロンプトで、選択リストに割り当てられたフィルタパラメータは、最初にレポートを実行したときには表示されますが、ログアウトして再度ログインしてからレポートを再実行すると表示されません。(02158179)
- ❑ Designer で DEFINE フィールドを含む HOLD ファイルを使用すると、「フィールド名が認識できません」というメッセージが表示されます。(02180100)
- ❑ edasprof.prf ファイルで SET HOLDFORMAT=ALPHA コマンドが設定されている場合、InfoAssist および Designer で [データソースの選択] パネルからマスターファイルを選択すると、開始時に不明なエラーメッセージが表示されます。(02122169、02180422)
- ❑ 日付フィルタを使用して新しい Designer レポートを保存すると、ポップアップと保存エラーメッセージが表示されます。(02182469、02182673、02183240、02130149)
- ❑ Designer でアプリケーション名のパス要素が 64 文字を超えると、ビジュアルイゼーション SQL エディタでエラーが生成されます。(02189950)
- ❑ AHTML ALLOW-FILTER=ON または OFF コマンドを使用してレポートを実行すると、レポートは内部例外で失敗します。(02174105、02181647、02168775、02183041)
- ❑ 大規模なリポジトリデータベースを使用する場合のパフォーマンスが改善されています。この修正は、WebFOCUS へのログインおよび WebFOCUS Hub へのアクセスに影響します。(02152069、02174572)
- ❑ WebFOCUS Hub で、WebFOCUS Client のセキュリティルールに基づいて、ユーザに表示されるべきではないサーバノードが [アプリケーションディレクトリ] タブまたは管理センターに表示されます。(02175258)
- ❑ バージョン 9.0.3 から 9.2.0 にアップグレードする場合、WebFOCUS Client が Reporting Server にアクセスできません。(02185613)
- ❑ mrdtcleanup.bat ファイルをサイレントモードまたはインタラクティブモードで実行すると、「java.lang.NullPointerException : null」メッセージが表示されます。(02177432)
- ❑ 見出しに &MR_FULL_FEXNAME 変数が含まれている場合、変数は解決されず、代わりにユーザに変数値の入力が要求されます。(02170688)
- ❑ リクエストで FOCCACHE ファイルに保存されているデータが使用されている場合、Designer でリクエストを再度開くことができません。(02187595)
- ❑ PCHOLD AS name FORMAT XLSX ステートメントを含むレポートを WebFOCUS Hub から実行すると、AS 名ではなく実際のプロシジャ名を含む Excel ファイルがダウンロードされず。(02185767)

- ❑ InfoAssist で同じ項目に複数の動的フィルタを設定すると、エラーが発生し、プロシジャファイルを保存できません。(02186188)
- ❑ InfoAssist で、バージョン 9.1.1 にアップグレード後、以前のバージョンで動作していた一部のレポートが内部例外エラーメッセージを受け取るようになります。(02179361、02186364)
- ❑ バージョン 9.1.1 にマイグレート後、WebFOCUS Hub を開く際にパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。(02181944)
- ❑ ビジュアライゼーションを作成する際に、[データソースの選択] ダイアログボックスに日本語のアプリケーションフォルダが表示されません。(02176865)
- ❑ ISO-8859-1 または ISO-8859-15 エンコードを使用して、WebSphere Application Server (WAS) 上で特殊文字を含むレポートを実行すると、エラーが発生します。(02170040)
- ❑ Quick Data でレポートを保存する際、一部の操作によって、WebFOCUS Reporting Server のライセンスキーを検証できないためローカルホストに接続することを示すメッセージが表示される場合があります。(02159620)
- ❑ InfoAssist でフィルタを作成して <値> に対する実行時入力パラメータを選択する場合、文字列を含む、文字列を含まない、文字マスクなどの一部の関係演算子が、ドロップダウンリストに表示されません。(02175422)
- ❑ InfoAssist で式フィルタの作成後に DEFINE フィールドを追加すると、FOC258 エラーが発生します。(02176608)
- ❑ InfoAssist で、JOIN を含むレポートが大文字の JOIN ファイル名で保存された場合、レポートを再度開くとレポートが失敗します。(02192749、02196417)
- ❑ App Studio をバージョン 8.1 SP05M から 9.0.4 にアップグレード後、ドロップダウンリストを含む HTML コンポーザページを実行すると、[表示フィールド] の値が表示されなくなります。(02175956)
- ❑ App Studio で、日付が HTML ページからプロシジャ (fex) に正しく送信されません。(02182104)
- ❑ App Studio で、Edge、Chrome、Firefox の Selenium ブラウザが事前に定義された Cookie を送信しないため、開発者は HTML ページへのフルアクセスを確認することができません。(02177179)

- ❑ App Studio で、カレンダーコントロールに対して [フォーマットなしの値を送信] オプションを選択した場合でも、HTML ページで [選択項目を保存] と日付を選択すると、日付パラメータにスラッシュのフォーマットが設定されます (例、「20230531」ではなく「2023/05/31」)。 (02187711)
- ❑ App Studio で、バージョン 8.2.07 から 9.1.0 で Default_theme.css が変更されたため、HTML リソースレイアウトページが影響を受けます。 (02166323)
- ❑ App Studio で、HTML ページの isoutputboundasvalue 属性の解釈が、バージョン 8.2.06 と 9.2.0 で異なります。 (02191008)
- ❑ App Studio で、PPTX 出力フォーマットでダウンロードしたドキュメントを開くと、ポップアップエラーウィンドウが表示されます。 (02180186)
- ❑ App Studio で、複数のアニメーションをロードすると、HTML ページのスピナーが残ります。 (02192040)
- ❑ App Studio の HTML ページで、JavaScript コードからデータをコントロールにロードすることができません。 (02193423)
- ❑ Designer オートプロンプトテンプレートが [デザイナ] に設定されている場合、IBIMR_domain および IBIMR_fullpath に誤った値が表示されます。 (02166402)
- ❑ Designer で、フィールド名の文字が DBCS の場合、パラメータがドリルダウンに渡されません。 (02164709)
- ❑ Designer で、バージョン 9.1.1 から 9.2.0 にアップグレードすると、連鎖ページフィルタのパフォーマンスが低下する可能性があります。 (02186204)
- ❑ Designer で、[デフォルトオートプロンプトテンプレート] が [レスポンス] に設定され、[オートドリル] が有効な場合、[フィルタ] ドロップダウンが表示されません。 (02188647)
- ❑ Designer で、FIND 関数を含むフィルタ付きのページが表示されません。 (02191910)
- ❑ Designer で、プロシジャのマスターファイルで ACCEPT リストが使用されている場合、ページフィルタが期待どおりに動作しません。 (02162033)
- ❑ Designer のビジュアライゼーションで、ワークスペースまたはアプリケーションディレクトリのフォルダからマスターファイルを検索しても、さまざまなアプリケーションやサブフォルダをスキャンしてマスターファイルを見つけることができません。 (02166024)
- ❑ WebFOCUS Hub で、他のタブを使用後、[お気に入り] タブと [最近使った項目] タブが数回複製されます。 (02188013)

- ❑ セキュリティセンターで、適用されたルールが [このグループのルール] および [このリソースのルール] ダイアログボックスに表示されません。(02188584、02184826、02192715)
- ❑ アプリケーションポータルにショートカットを追加しても、ワークスペースはリフレッシュされません。(02188652)
- ❑ WebFOCUS バージョン 9.2.0 をインストール、またはバージョン 9.1.0 からアップグレード後、[IBI_CUSTOMIZED_SIGNIN_PAGE] を [true] に設定すると、ログインできなくなり、HTTP 500 内部サーバエラーメッセージが表示されます。(02164181、02193239、02193736)
- ❑ Designer で、タイトルを非表示にするオプションがオンになっている場合でも、グラフの X 軸と Y 軸のタイトルが表示されます。(02172021、02176882)
- ❑ App Studio MAINTAIN DATA で、バージョン 9.1.0 または 9.2.0 で外部 MAINTAIN プロシジャを実行すると、エラーが発生するか、出力が生成されません。(02181942、02184756)
- ❑ ReportCaster で、[最大接続数 (スレッド数)] の設定が無視されます。(02177998、02186241)
- ❑ ReportCaster の スケジュールで、有効期限が 10 年以上に設定されている場合、ReportLibrary レポート出力の有効期限として [なし] が表示されます。(02191213)
- ❑ WebFOCUS バージョン 8.1 SP05M と 9.1.1 では、PDF 出力のファイルサイズが、およそ 1 キロバイト異なります。(02170868)
- ❑ Solr Search Service が停止している場合、WebFOCUS Hub で [検索] アイコンをクリックすると、スピナーが無限に表示されます。(02184124)
- ❑ Amazon Athena アダプタ接続で、マルチバイト文字を含むフィールド名を使用してレポートを実行すると、SQL エラーが発生します。
- ❑ HP Vertica アダプタを使用する場合、Designer の [DEFINE] タブに誤った UTF-8 文字列が表示されます。(02174890)
- ❑ i5 オペレーティングシステムで、同じプロシジャを 2 回目に実行すると、Db2 のパフォーマンスが低下します。(02180813)
- ❑ WebFOCUS Designer で、二重引用符 (") を含まない動的フィルタ条件でレポートを作成して保存した場合、レポートを編集して再度保存すると、二重引用符が自動的に追加されます。(02150029)

- ❑ WebFOCUS Designer で、マスターファイルを複数の主キーと結合すると、キーが 1 つのキーに変更されます。(02190481)
- ❑ Designer で、WebFOCUS バージョン 8.2.06 から 9.2.0 にマイグレートする際に、BV_NAMESPACE=ON が指定されたビジネスビューでエラーメッセージが生成されます。(02189676)
- ❑ InfoAssist および Designer で、DBA に RESTRICT 句を使用すると、TITLE および DESCRIPTION のコンテンツは表示されず、代わりに FIELDNAME が表示されます。(02173015)
- ❑ FPRINT 関数は、An フィールドの AnV フォーマットを受容しません。(02170093)
- ❑ Data Migrator で、JSON ファイルでピリオド (.) に設定された値が null としてインポートされます。(02185896)
- ❑ Data Migrator で、CVS 出力ファイルの列見出しにブランクまたはスラッシュ (/) などの他の文字が含まれている場合、ターゲットシノニムフィールド名で無効として表示されます。(02192210)
- ❑ バージョン 8207.28 から 9.0.4 にアップグレード後、JO の JOIN 名にセグメントの短縮名が使用されている場合、「フィールド名が認識できない」というエラーメッセージが表示されます。(02171975、02180814)
- ❑ Reporting Server エージェントを手動で複数回停止しようとする、と、エージェントがクラッシュします。(02167076)
- ❑ ISAPI リダイレクト (Jakarta) を使用して IIS と Tomcat を構成すると、Reporting Server へのアクセスが要求されるたびに、WebFOCUS イベントログにエラーメッセージが表示されます。(02175970、02181008、02086807)
- ❑ [ディファードステータス] ダイアログボックスの [リフレッシュ] ボタンを繰り返しクリックすると、TCP/HTTP リスナのメモリ破損が発生するため、リスナがクラッシュします。(02167983)
- ❑ Reporting Server の dfm_dir ディレクトリに多数のディファードレポートが保存されている場合、単一レポートの取得で Client のパフォーマンスの問題が発生します。(02173572)
- ❑ Reporting Server ブラウザインターフェースの [ディスクへのアプリケーションマッピング] オプションを使用して DBCS 文字を含むフォルダをマッピングすると、マッピングパスが無効 (SJIS) であることを示すメッセージが表示されます。(02180716)
- ❑ 9.2.0 Reporting Server のインストールでは、既存のリリース 9.2.0 インストールが検出されないため、[追加の構成を作成] オプションは使用できません。(02187296)

- ❑ WebFOCUS バージョン 9.1.1 で、Reporting Server のアクセスコントロールテンプレートが Unicode サーバでは機能しません。(02175546)

2

バージョン 9.2.0 リリースガイド

ここでは、WebFOCUS の上記バージョンについて、必要な最新情報を提供します。

このマニュアルのオンラインバージョンおよびこのバージョンについての詳細は、[TIBCO WebFOCUS 製品ドキュメントサイト](#)にアクセスし、[Documentation] タブから製品グループへのリンクを選択してください。

トピックス

- ☐ [バージョンおよびビルド情報](#)
- ☐ [新機能](#)
- ☐ [修正済み問題](#)
- ☐ [アップグレードに関する注意事項](#)
- ☐ [既知の問題](#)

バージョンおよびビルド情報

リリース日	ビルド番号	Reporting Server
2023 年 4 月	wf041123c wi041123c as041123c	920 Gen 2755

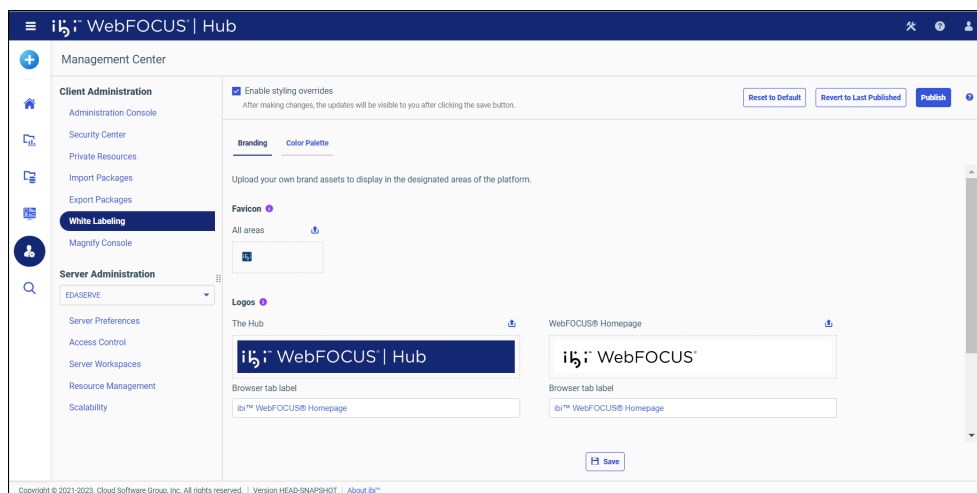
新機能

ここでは、上記バージョンの新機能について説明します。

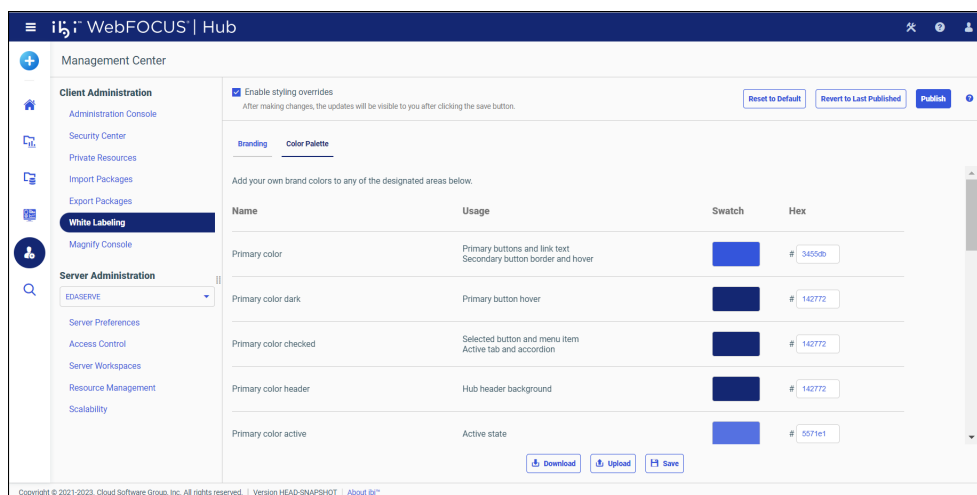
ホワイトラベルによる ibi™ WebFOCUS® ユーザインターフェース外観のカスタマイズ

バージョン 9.2.0 では、ibi™ WebFOCUS® Hub の管理センターにある新しいホワイトラベル機能によって、ibi WebFOCUS ユーザインターフェースのデフォルトの外観を、組織で使用されているカラーパレットおよびブランドイメージに基づく新しい外観に置き換えることができます。

下図のように、ホワイトラベル機能を使用すると、[ブランディング] タブから、ファビコン、ブラウザタブのラベルテキスト、バナーロゴを更新することができます。



下図のように、[色パレット] タブで、WebFOCUS に割り当てられているデフォルト設定のカラーパレットを置き換えることもできます。



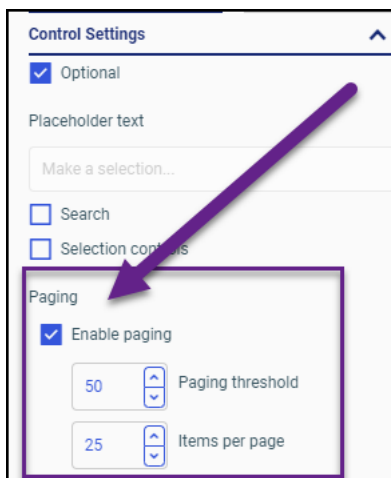
このツールを使用して行った変更はすべてのユーザに影響を与えるため、ホワイトラベル機能には、カスタマイズを行う際に、カスタムスタイルの選択をプレビュー、修正、または取り消すことができるオプションも用意されています。

ユーザインターフェース用にカスタマイズしたテーマの開発方法にかかわらず、デフォルト設定の WebFOCUS テーマは常に利用可能です。このため、必要に応じて、WebFOCUS ユーザインターフェースの標準的な外観に戻すことができます。

ホワイトラベル機能を使用することで、組織が管理する他のアプリケーションの外観にシームレスに適合する環境を構築し、使い慣れたユーザ環境の快適さをユーザに提供するとともに、開発したアプリケーションの導入と使用を促進することができます。

フィルタリストの項目数を制御する機能

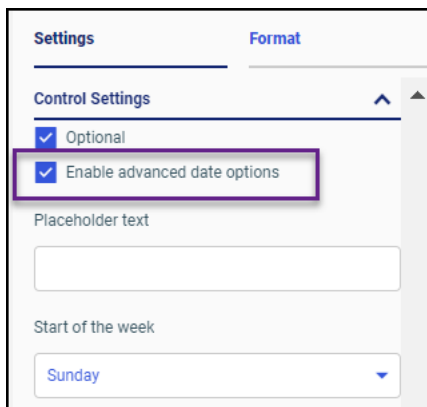
WebFOCUS Designer の [ビジュアライゼーション] タブには、下図のように、[プロパティ] パネルの [コントロールの設定] セクションに、[ページングを有効にする]、[ページングしきい値]、[1 ページの項目数] オプションが新たに追加されています。



これらの設定を使用して、フィルタが設定されたオプションのリストをページに分割し、1 ページのリストに表示する項目の最大数を制御することができます。この機能を使用すると、オプションの長いリストを表示可能で管理しやすいグループのページに分割できます。また、ユーザがフレームの下にあるリストオプションを見落とさないようにすることもできます。

日付選択カレンダーの表示を簡素化する機能

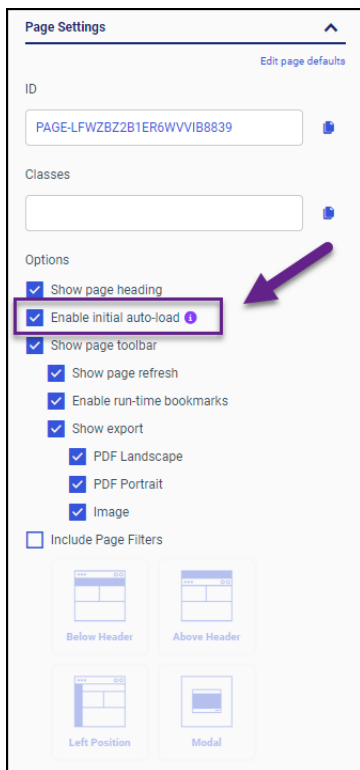
WebFOCUS Designer の [ビジュアライゼーション] タブには、[プロパティ] パネルの [コントロールの設定] セクションに、[詳細日付オプションを有効にする] チェックボックスが新たに追加されています。下図のように、このオプションは、[カレンダーコントロール] フィルタを選択した場合に表示されます。



このオプションはデフォルト設定で選択されていますが、日付選択ウィンドウの詳細日付オプションをデフォルト設定で非表示にする必要がある場合は、オフにすることができます。この変更により、日付フィルタオプションを選択すると、すぐにカレンダーを開くことができるようになったため、ユーザは、詳細日付オプションビューを開いて [カスタム] ボタンを選択し、カレンダーを開く必要がなくなりました。この機能は、高度なデータ範囲制御の追加オプションが必要な場合に使用できます。

ビジュアライゼーションの初期自動ロード機能を構成する機能

WebFOCUS Designer の [ビジュアライゼーション] タブには、下図のように、[プロパティ] パネルの [ページ設定] セクションに、[初期自動ロードを有効にする] オプションが新たに追加されています。



このオプションを使用して、ビジュアライゼーションを最初に開いたときに、データをすべてのコンテンツコンテナに自動的にロードするかどうかを選択することができます。このオプションはデフォルト設定で選択されており、すべてのコンテンツが自動的にロードされます。ユーザが [リフレッシュ] オプションを選択した後にのみコンテンツをロードするページを作成する必要がある場合は、オフにすることができます。

コンテンツの自動ロードを使用しないオプションを提供することで、多数のコンテンツコンテナで構成される複雑なビジュアライゼーションの表示を高速化することができます。このオプションを使用して、ユーザによるデータの表示を、特定のクエリに関連する情報を含むコンテナに制限することもできます。

ibi™ Data Migrator の機能強化

Data Migrator の次の機能が強化されました。

❑ Data Migrator への API アクセス

新しい REST API が追加され、任意の顧客アプリケーションから Data Migrator 機能にアクセスできるようになりました。従来、これらの機能は、Data Migrator のユーザインターフェースからのみ使用できました。REST API を使用すると、組織内の任意のアプリケーションから、ETL フローを開始または停止したり、スケジュールされたフローに関する情報を管理または取得したり、フローの実行に関する統計を取得したりできます。

❑ 共通テーブル式 (CTE)

ETL フローを高速化するための新しいパフォーマンスの改善に伴い、共通のテーブル式を使用することで、同じ Sub-SELECT が複数回使用されている場合に SQL リクエストを簡素化できるようになりました。共通テーブル式は SELECT ステートメントから作成された一時的な名前付き結果セットで、後続の SELECT ステートメントで使用できます。

❑ 説明

メモ機能が強化され、データフロー、プロセスフロー、それらのオブジェクトだけでなく、キャンバスにも一般的なメモを追加できるようになりました。これにより、ワークスペースから直接、データフロー、データフローオブジェクト、プロセスフロー、プロセスフローオブジェクトに関する詳細なコメントを追加できます。これらのメモは、フローレポートが印刷されるときに表示され、フローの詳細なドキュメントが提供されます。

❑ ロードの最適化

ロードの最適化機能を使用すると、フローでの挿入処理と更新処理を組み合わせることにより、ロードを高速化することができます。このオプションは、INSERT のみの処理だけでなく、MERGE コマンドを使用するデータベースでも使用できます。この機能の強化として、[ロードの最適化] オプションを使用できないフローが保存された場合に、理由を示す警告メッセージが表示され、フローが最適化されていないフローとして保存されるようになったため、フローの実行方法を理解しやすくなります。

❑ データ系列の機能強化

データ系列オプションを使用して、フィールドの抽出元情報を表示することができます。フィールドの抽出元であるデータソースをトレースし、元となるすべてのコンポーネントを表示します。プライマリ SELECT のデータ系列に加えて、Sub-SELECT、UNION、関連 Sub-SELECT、共通テーブル式 (CTE) の情報を提供するように機能が強化され、フィールドデータ系列をより詳細に把握することが可能になりました。

EXASol Server および SQL 自動パススルー (APT) 設定の強化

EXASol Server のバージョンが 7.1.5 に更新され、EXASol ODBC ドライバのバージョンがバージョン 7.1.14 に更新されました。

最近更新された SQL トランスレータの自動パススルー (APT) 処理を使用することで、この新しいバージョンの EXASol Server の拡張機能を利用できます。

修正済み問題

- ❑ 大規模なリポジトリデータベースを使用する場合のパフォーマンスが改善されています。この修正は、WebFOCUS へのログインおよび WebFOCUS Hub へのアクセスに影響します。
- ❑ Trusted チケット認証が有効で、[埋め込みの許可] および [CORS (クロスオリジンリソース共有) の許可] の両方ですべての URL を受容するよう構成されている場合でも、認証済みユーザにはログインページが表示され、埋め込みポータルを表示する前に資格情報の入力が必要されます。(02142707、02151235)
- ❑ WebFOCUS Designer で、バージョン 8.2.06 で UTF-8 または SJIS/942 を使用して作成されたポータルページを、バージョン 9.0.3 で実行すると表示できません。(02135625)
- ❑ WebFOCUS Designer で、[実行時に選択] フォーマットオプションと新しい出力フォーマットを選択後、出力フォーマットが変更されません。(02117199、02130421)
- ❑ セキュリティセンターで、サブグループノードをグループレベルに移動することができません。(02126440)
- ❑ DEFINE ステートメントで DT_FORMAT 関数を使用すると、「SQL コード：8116」というエラーメッセージが返されます。(02131685)
- ❑ [レガシー機能を有効にする] が無効の場合、WebFOCUS Designer レポートに [編集] オプションが表示されません。(02135973)
- ❑ [コアエンジンの設定] パラメータページで複数のサービスエリアが選択されている場合、最初のエリア以外の項目の更新が .prf ファイルに保存されません。(02142486)
- ❑ MVS で実行されている Reporting Server に割り当てられた edasprof.prf ファイルで DYNAM SET TEMPALLOC MVS 設定を使用すると、InfoAssist が修復できないエラーメッセージを生成します。(02031290、02149418)
- ❑ getdetails REST 関数で、パラメータを返すことができません。(02116296)
- ❑ ZIP 暗号化パスワードプラグイン設定に割り当てられた値がデフォルトの場合、ZIP ファイル暗号化プラグインにより「AIP 暗号化パスワードプラグインクラスのロードに失敗しました」というメッセージが生成されます。(02148729、02157177)

- ❑ ReportCaster でスケジュールを複製しようとする、「ibi.broker.api.data.CasterException：検証エラー：'execPassword' の値が必要です。エラーコード：MSGV0004」というメッセージが表示されます。(02116371)
- ❑ TDV edajlink アダプタを介して Unicode の Reporting Server に接続し、データソースから ASCII 以外の文字を取得しようとする、エラーメッセージが表示される場合があります。(02130887)
- ❑ PDF、PPTX、または XLSX 出力ファイルのデフォルト設定の名前として、レポートまたはグラフの実際の名前ではなく、WFServlet が割り当てられます。(02079937)
- ❑ [データの取得] ダイアログボックスで [リモートサーバ接続の追加] オプションをキャンセルした後、ユーザは新しいアダプタ接続を構成できません。(02068713)
- ❑ ユーザ監査ユーティリティを実行すると、StringIndexOutOfBoundsException メッセージが表示され、ユーザ監査レポートの実行に失敗します。(02167945、02174458)
- ❑ WebFOCUS Designer で、[プロパティ] パネルの [フォーマット] タブの [テーマ] 設定の値として、[ページテーマの継承] ではなく、[Designer 2018] が表示されます。(02172209)
- ❑ バージョン 9.1.0 にアップグレード後、PDF 出力ファイルに表示されるページあたりの情報の行数が増加するため、自動アップグレード検証テストが失敗する場合があります。(02144041)
- ❑ レポート出力に、NOPRINT オプションを指定した数値 BY フィールドが表示されます。(02147498)
- ❑ WebFOCUS Designer の [ビジュアルライゼーション] タブで、ブラウザウィンドウから [元に戻す] オプションを選択しても、見出しスタイルツールバーのサイズが自動的に変更されません。(02158249)
- ❑ 実行時に表示されるカレンダーコントロールに、[前の月] ボタンと [次の月] ボタンが表示されません。(02160748、02160749)
- ❑ App Studio で、HTML ページの [タブインデックス] プロパティに割り当てられた値が、ゼロ (0) またはマイナス 1 (-1) に再設定した後でも 1 に戻ります。(02160324)
- ❑ SET FILECASE パラメータの値が ACTUAL に設定されている場合、大文字の Excel ファイル名が、WebFOCUS Reporting Server に渡されるときに自動的に小文字に変換されます。(02157870)
- ❑ WebSEAL で保護された環境で WebFOCUS を使用し、新しい変更管理シナリオを作成しようとする、「404 - ページが見つかりません」というエラーメッセージが表示される場合があります。(02117053)

- ❑ App Studio をバージョン 9.0.1 にアップグレード後、HTML ページが、パラメータをレポートに渡す入力コントロールに応答しなくなります。(02153575)
- ❑ App Studio の HTML キャンバスに配置したフォームのフレームが消失し、フレームを再設定することができません。(02146639)
- ❑ WebFOCUS Designer のグリッドレポートで、改行で区切られた見出しテキストを Firefox ブラウザで表示した場合、期待どおりに別の行に表示されません。(02137839)
- ❑ App Studio の HTML ページ出力で、最初のコントロールパラメータに割り当てられた値に基づく選択パラメータ値に指定された値セットが、2 番目のコントロールパラメータリストに表示されない場合があります。(02156323)
- ❑ App Studio で一部の操作を実行した場合、HTML キャンバスの [リクエストとデータソース] パネルが動作しなくなります。(02149067)
- ❑ App Studio HTML ドキュメントで、[選択値を保持] オプションが有効になっている場合でも、動的検索リストの表示を以前に選択した検索値に制限できません。(02161709)
- ❑ 2 バイト文字セット (DBCS) 文字を含む名前を使用するファイルにリンクされたフィルタを含むブックマークページが、保存後に取得できません。(02152107)
- ❑ 名前に大文字が含まれるアプリケーションフォルダにビジュアライゼーションを作成すると、FOC 295 メッセージが表示される場合があります。(02165940)
- ❑ バージョン 9.1 で、アクセスを制限するがデータのアップロード (opUploadDataFile) 権限を含むカスタムロールを作成し、それをワークスペースルールとしてユーザに割り当てた場合、[コンテンツ] メニューの [ファイルのアップロード] オプションに、ファイルを選択してアップロードするための [開く] ダイアログボックスが表示されなくなります。(02162905)
- ❑ [式の詳細設定] で DEFINE フィールドを作成した場合、ファイルを再度開いたときにフィールド名が変更されます。(02152428)
- ❑ ReportCaster バージョン 9.0.2 以降で、バージョン 8.1 SP05 の配信リスト (Distribution Server データベースのハンドルによって場所を識別) は、保存しない限り、取得して新しい配信のアドレス帳として使用することができません。(02164026)
- ❑ ビジネスビューで、異なるフィールドでの繰り返し JOIN を含むクラスタ内の [属性] フォルダが、それらが属するセグメントの下に表示されない場合があります。(02029011)
- ❑ App Studio で、プロシジャの実行中にセッションが応答しなくなります。(02144012)

- ❑ [アクセスコントロール] ページの [設定] メニューから開く [暗号化] ダイアログボックスで、encrypt_admincfg 設定に割り当てられた値を変更しても、admin.cfg ファイルに割り当てられた値はすぐには暗号化または復号化されません。(02136345)
- ❑ CSRF トークンをインストールして WebFOCUS で有効にした場合、ibi WebFOCUS Client アダプタを使用すると、「htRecv：エラーが発生しました。ステータス = 403 アクセス不可」メッセージが生成されます。(02154242)
- ❑ WebFOCUS Reporting Server ブラウザインターフェースで、アプリケーションツリーからアクセスファイル (acx) を編集すると、日付スタンプが更新されません。(02099657)
- ❑ App Studio で、ターゲットコントロールにロードされるパラメータの表示時間が 1 秒未満になります。(02149997)
- ❑ App Studio でレポートの実行時に、フレーム内のロード画面が初期状態で遅延します。(02154446)
- ❑ WebFOCUS Designer ビジュアライゼーションで、レポートがビジュアライゼーションに表示されるときに、レポートフィルタコントロールに割り当てられた日付値が表示されません。(02130149)
- ❑ [アプリケーションコンテキスト] 設定を更新しても、ユーザが [アプリケーションキャッシュ] 設定に割り当てられた値を変更するたびに、値がデフォルト値に戻ります。(02156341、02156352)
- ❑ Unicode 構成を使用する Microsoft SQL Server リポジトリ内のプロシジャ (.fex) またはその他のオブジェクトから 32,000 行を超えるテキストを取得しようとする、SQL Server 接続を介した TSCOM 検索が応答を停止します。(02164562)
- ❑ 割り当て先コンポーネントの [表示] オプションが [非表示] に設定されている場合、jQuery アニメーション効果が適用されません。(02154454)
- ❑ Google Chrome または Microsoft Edge ブラウザを使用している場合、有効なユーザ認証資格情報を含む foccache セッションが維持されないため、App Studio ユーザは、最初のフォームベース認証または Kerberos 認証の後に、WebFOCUS へのログインが要求されます。(02144969、02151640)
- ❑ レポートに含まれるリポジトリプロシジャの数とサイズは実行時のパフォーマンスに影響し、[実行] ボタンがクリックされてからレポートリクエストが Reporting Server に配信されるまでに遅延が発生する可能性があります。(02042501)

- ❑ リソース管理で、モニタ対象の WebFOCUS Reporting Server のホスト名にハイフン (-) が含まれており、リソース管理リポジトリが PostgreSQL データベースに保持されている場合、送信されたジョブによってエラーメッセージが生成されます。(02143465)
- ❑ バージョン 8.2.07.28.13 以降で、*ibi¥srv82¥wfs¥etc¥fontuser.xml ファイルに EUDC セクションが含まれている場合、ユーザ定義文字 (EUDC)、Times New Roman などのその他のフォントが、PDF 出力に期待どおりに表示されません。(02157055)
- ❑ REST Web サービスを記述するマスターファイルに対してレポートを作成し、広範囲の日付を選択すると、FOC42271 エラー メッセージが表示される場合があります。(02146592)
- ❑ IN LIST、OR、または _FOC_MISSING を含むフィルタを使用して InfoAssist プロシジャを作成すると、実行時に「(FOC148) IS MISSING の指定に誤りがあります」というメッセージが表示されます。
- ❑ InfoAssist で、WHERE 句を含み、以前のバージョンで作成されたレポートを編集すると、修復できないエラーが発生する場合があります。(02140336)
- ❑ WebFOCUS バージョン 9 で、以前のバージョンで作成された Active Report のカレンダーフィルタを使用すると、選択した日付の結果でフィルタを設定する代わりに、「ida.js:4644 Uncaught TypeError: \$(...).calendar is not a function」というメッセージが返されます。(02122420、02139899)
- ❑ 匿名認証が有効になっていない場合、EDASERVE フォルダまたは APP ディレクトリからの URL によって呼び出された HTML アセットは、最初は正しく開きますが、後続のリクエストに応答して JavaScript の「ibi_apps エイリアス」メッセージを返します。(02164391)
- ❑ DEFINE フィールドと JOIN ステートメントを含む HOLD ファイルから作成されたレポートをドキュメントに追加した場合、「(FOC003) フィールド名に誤りがあります：Define_1」、「(FOC009) リクエストの検証でエラーが見つかりました。リクエストは実行されません」、「(FOC3296) 複合レポートにエラーがあります：コンポーネント TableChart」というメッセージが表示されることがあります。(02131352)
- ❑ CREATE SYNONYM コマンドは、REST サービス接続が失敗した場合に、メッセージを返す代わりに、空のマスターファイルを作成します。(02159393)
- ❑ Resource Governor で、スケジュールリポジトリメンテナンスジョブのステータスを変更した後、追加のジョブのステータスを変更しようとする、「プロシジャを解析できません」というメッセージが返されます。(02166475)
- ❑ レポート出力キャッシュ機能が有効になっていて、多数の列を含むレポートが 2 回以上実行された場合、ユーザはエラーを受信します。(02145223)

- ❑ `lbComposer_getCurrentSelection()` 関数は、テキストボックス内のテキストの先頭の空白を含めません。(02143464)
- ❑ WebFOCUS Designer で、二重引用符 (") を含まない動的フィルタ条件でレポートを作成して保存した場合、レポートを編集して再度保存すると、二重引用符が自動的に追加されます。(02150029)
- ❑ App Studio で、[背景スタイルのプロパティ] ダイアログボックスの [透明] チェックボックスを選択しても、編集ボックスに透明な背景が割り当てられず、[背景のプロパティ] タブで定義されている編集ボックスの他の背景値の割り当てにも失敗します。(02159105)
- ❑ Linux でディファードチケットクリーンアップユーティリティ (`mrdtcleanup`) を実行すると、「\$ 'r': コマンドが見つかりません」というメッセージが表示されます。(02162596、02164092)
- ❑ オートプロンプトで、選択リストに割り当てられたフィルタパラメータは、最初にレポートを実行したときには表示されますが、ログアウトして再度ログインしてからレポートを再実行すると表示されません。(02158179)
- ❑ HTML ファイルに、別のフォルダに存在する類似の HTML ファイルから以前に選択された値が表示されます。(02147026)
- ❑ ユーザが `window.openener` で新しいウィンドウから親ウィンドウの値を選択するときに、「`TypeError: Cannot read properties of null`」というメッセージが表示されます。(02152208)
- ❑ シノニムからの事前定義されたフィルタを使用する HOLD ファイルを使用するレポートは、期待どおりに実行することはできませんが、作成、編集することはできません。(02152031)
- ❑ アップグレード後に、日付をフィルタとして使用する WebFOCUS Designer の変換ページを開くと、ポータル上の残りの変換済みページはエラーを受信し、表示されません。(02143644)
- ❑ REST アダプタを使用して、RESTful 呼び出しを発行して ReportCaster スケジュールを更新するプロシジャのパラメータ値に多数の文字が含まれている場合、「Reporting Server エージェントが異常終了しました」という応答メッセージを受信することがあります。(02149928)
- ❑ WebFOCUS Hub の [ワークスペース] エリアで、1 つ以上のステートメントへの連結を含むプロシジャの [プロパティ] パネルを開くと、「詳細の取得中でエラーが発生しました」というメッセージが表示されます。(02145303)
- ❑ 更新が正常に完了したことがステータスメッセージに示されている場合でも、Solr データベースに新しいデータが入力されません。(02138861)

- ❑ Designer ポータル上部のナビゲーションバーで選択したフォルダタブ上にマウスポインタを置くと、不完全な情報を含むツールヒントが表示されます。(02123246)
- ❑ 最初のページに十分な空きスペースがある場合でも、ラインフィード (LF) 機能によって、PDF レポートが 2 ページに分割されます。(02077512)
- ❑ OR で接続された複数の WHERE 条件を含むプロシジャは、FOC177 エラーメッセージの生成に失敗する場合があります。(02085988)
- ❑ 最新バージョンの WebFOCUS に追加された新しい IBFS_arg0 パラメータに引数がないため、clearBFSCache RESTful サービスは WebFOCUS Client のキャッシュをクリアしません。(02150339)
- ❑ 相互参照を含むマスターファイルからプロシジャを実行すると、セッションが失われた、エージェントがクラッシュした、または強制終了されたというエラーメッセージが自動的に生成されます。(02155564)
- ❑ ドイツ語のグラフの Y 軸ラベルに、Millions の正しい省略形が表示されません。(02141528)
- ❑ WebFOCUS バージョン 9.0 および 9.1 では、以前のバージョンよりも Designer ポータルおよびポータルページのロードに時間がかかる場合があります。(02153262、02153444)
- ❑ 拡張ロードユーティリティを実行すると、Snowflake アダプタによって「データベース "%AIMDEV" が存在しないか、許可されていません」というメッセージが生成されます。(02126293)
- ❑ XML ファイルを解析する場合、パーサが外部エンティティへのアクセスを無効にしないため、ペイロードが有効になり、サーバが予期しない処理を実行する可能性があります。
- ❑ データフローで CSV から MySQL への JOIN を使用すると、値に誤りまたは欠落が発生します。(02152868)
- ❑ ユーザ ID が大文字の場合、ディファードリクエストが送信されません。(02029575、02128295)
- ❑ ページまたはポータルから [PDF へエクスポート] 機能を選択すると、サイズの大きい PDF が生成されます。この PDF を Adobe Reader で開いて [名前を付けて保存] メニューオプションを使用することで、ファイルサイズを縮小することができます。(02087410)
- ❑ WebFOCUS Designer で、ビジュアライゼーションのフィルタバーに割り当てられたマスターファイルフィルタで、ユーザがオプションを選択する必要があります。(02157840)
- ❑ WebFOCUS Designer で、ユーザがマスターファイルフィルタをダブルクリックすると、「AddIsFilter」というエラーメッセージが表示されます。(02157838)

- ❑ 2つのクラスタシノニムを結合するときに、相互参照されたフィールドが見つかりません。(02110804)
- ❑ App Studio で、自動生成されたブラウザ依存のプロセスが App Studio セッションが閉じられるまで終了しないため、前のリクエストが完了するまで新しいリクエストの実行が遅れます。(02165064)
- ❑ App Studio で、MATCH ウィザードを使用して 2 つのフィールド間の MATCH を作成する場合、[表示] 列リストには、期待されるオプションの [はい] と [いいえ] の代わりに、[ディファルトレポートとしてのみ実行] と [ユーザに実行を許可] が表示されます。(02031029)
- ❑ App Studio インストールで日本語を使用する場合、FOC295 メッセージのテキスト文字の一部が 実際の文字ではなく、それらを表す HTML 数値 (𘚟) で表示されます。(02104853)
- ❑ InfoAssist アプリケーションウィンドウのレポートフィルタウィンドウからオプションのフィルタを削除しても、オプションのフィルタがレポートプロシジャコードから削除されません。(02040817)
- ❑ Linux オペレーティングシステムで、ファイル名に大文字が使用されている場合 (例、EDASERVE.prf)、edaserve.prf ファイルは無視されます。(02128842)
- ❑ App Studio で、オートドリルレポートを実行すると、「不明なエラーメッセージ。再起動できません」というメッセージが表示されます。(02151823)
- ❑ ログファイルの一部で Stmtrace が取得されません。(02162596、02164092)
- ❑ InfoAssist で、ワークスペースを作成またはプロシジャを実行する場合に、ファイル名またはフォルダ名に上付き文字の x (*) 特殊文字が含まれていると、「名前に次の文字を含めることはできません」というメッセージが表示されます。(02152790)
- ❑ ReportCaster で、タスクパラメータ変数に割り当てられた値が、HTML コンポーザレポートのスケジュール配信に渡されません。(02162393)
- ❑ ReportCaster で、値を 5 分に設定して繰り返しオプション [タスクが失敗した場合、再試行 (頻度)] を有効にすると、スケジュールを保存して再度開いた後に、誤った時間間隔である 1 分が表示されます。(02158244)
- ❑ データアシストで、MS SQL Server OLE DB サーバデータソースへの新しいアダプタ接続を追加する場合、完了するまでに時間がかかります。(02157995)
- ❑ App Studio HTML ページで、カレンダーコントロールから現在の日付以外の日付を含めたレポートリクエストを送信すると、結果は常に現在の日付を返します。(02160902)

- ❑ App Studio で、バージョン 9.0.3 にアップグレード後、[すべて削除] ダブルリストコントロールオプションを使用しても、選択リストボックスからすべてのエントリを削除することができません。(02145614)
- ❑ Data Migrator バージョン 9.0.3 で、バージョン 8.2 SP03M で作成された DBMS SQL フローを実行すると、エラーメッセージが表示されます。(02159197)
- ❑ Data Migrator のデータフローユーザインターフェースでは、更新されたデータフローを保存するときに、変換計算ツールの値 MISSING = ON が保存されません。(02147139)
- ❑ Data Migrator バージョン 9.0.3 で、ユーザはバージョン 8.2.00 で作成されたデータフローに加えた変更を保存できません。(02160373)
- ❑ App Studio MAINTAIN で、複数のフォームで同じスタックを使用して 1 つのフォームの HTMLTable にレコードを表示し、次に選択したレコードを 2 つ目のフォームの編集ボックスに表示すると、HTMLTable の 1 行目のレコードがブランクになります。(02154326)
- ❑ ユニークセグメントを含む FOCUS ファイルにレコードを挿入しようとする、
「(FOC03761) 重大なエラー：qfslog::endTrans Segment size exceeds limit of 3832 message」が表示されます。(02124660)
- ❑ App Studio MAINTAIN で、以前のバージョンで開発され、バージョン 9.2.0 にマイグレートされた埋め込み HTML コードを含むアプリケーションを、保存後に再度開くことができません。(02161257)
- ❑ Developer Studio から App Studio MAINTAIN にマイグレートされたアプリケーションには、正しくない構文が含まれている可能性があり、動的変数の一部が欠落する可能性があります。(02161257、02131843)
- ❑ Developer Studio から App Studio にマイグレート後、出力変数がチェックボックスにラベルとして表示されます。たとえば、割り当て済みの値の代わりに、
「Application.stack.variable」と表示されます。(02131843)
- ❑ OData アダプタを使用する場合、BY 句とともに使用される PRINT DST. コマンドでエラーが発生します。(02144161)
- ❑ フォームに配置されたコントロールで Enter キーを押すと、送信ボタンに定義されたアクションが実行されます。(02154167)
- ❑ App Studio のドキュメントキャンバスで、既存のグラフが [開く] ダイアログボックスに表示されません。(02080428)
- ❑ App Studio で、ページ検索コントロールの検索結果が正しく表示されない場合があります。(02161029)

- ❑ テキストエディタで変更が保存されたことが示されていても、テキストエディタで加えたプロシジャへの変更が保存されない場合があります。(02159162)
- ❑ WebFOCUS Reporting Server をバージョン 8.1 SP05M からバージョン 8207.28.09 にマイグレート後、Netezza ソースデータベースへの汎用 ODBC 接続を使用するクラスタマスターファイルは、FOC1400、FOC1500、FOC1406 エラーメッセージを返します。(02139615)
- ❑ Data Migrator が Team Foundation Server ソースコード管理システムで構成されている場合、[ユーザ設定のクリア] オプションの選択が必要な場合があります。これは、変換で TARGET フィールドと SOURCE フィールドが表示されないためです。(02164042)
- ❑ Data Migrator で、大規模な XML ファイルからターゲットデータベースにデータを転送すると、使用可能なメモリリソースがすべて消費され、エージェントが応答なくなります。(02161810)
- ❑ App Studio で、MultiSourceTreeControl の保存パラメータで値がロードされません。(02151190)
- ❑ App Studio で、[パラメータ値の自動再使用] オプションが [いいえ] に設定されている場合、[パラメータの保存] ダイアログボックスがロードされません。(02151190)
- ❑ WebFOCUS Designer で、単一のデータグリッドをロードした後に行が表示されず、パフォーマンスの問題が発生します。(02142379)
- ❑ ページデザイナーで、[ページに変換] オプションまたは [コンテナの追加] オプションを使用すると、ページ見出しのフォントが変更されます。(02053586)
- ❑ WebFOCUS Designer で、[ファイルにエクスポート] コマンドの値を [縦] または [横] に設定すると、レポートに余分な空白が表示されます。(02143490)
- ❑ WebFOCUS Designer で、フィルタが [フィルタ] セクションの [フィルタ] アイコンではなく、[フィールド] アイコンで表され、[メジャー] セクションに表示されます。(02157837)
- ❑ App Studio で、複数の WHERE 句を含むプロシジャからデータを取り込んだ場合、HTML ページが開くときに時間がかかることがあります。(02140194)
- ❑ TABPAGENO および MULTI-LINE とともに COMPUTE 関数を使用すると、誤った計算結果が返されます。(02144918、02144052、02146206、02146202)
- ❑ WebFOCUS レポート言語の BY ROWS OVER 手法が、表形式 (DAX) データアダプタで機能しません。(02152366)

- ❑ GLOBALNAME 設定が存在する場合、ユーザは HTML ページを複数回実行できません。(02151600)
- ❑ レポートで、日付が YYYYMMDD フォーマットに準拠していない場合、日付値を定義済みフィルタに渡すドリルダウンリンクが応答を停止します。(02166207)
- ❑ App Studio で、バージョン 9.0.3 にアップグレード後、フィルタが設定されたインタラクティブレポートリクエストの結果を表示するポータルページが、2 回目以降のリクエストで再ロードできません。(02163334)
- ❑ WebFOCUS バージョン 8.2.07 からバージョン 9.0.3 にアップグレード後、InfoAssist ドキュメントコンポーザで、NOPRINT として識別されるフィールドがレポートに表示されません。(02131611)
- ❑ WebFOCUS Designer の Analytic Document でフィールドを選択し、そのフィールドで DISTINCT を使用してグラフを作成すると、件数が正しくなりません。(02138687)
- ❑ edasprof.prf ファイルで ARVERSION=2 を設定した後、ビジュアライゼーションの作成時に、「Uncaught TypeError」エラーメッセージが表示されます。(02112055)
- ❑ WebFOCUS をアップグレード後、InfoAssist で foccache ファイルからのデータを使用するレポートの JOIN が使用できなくなります。(02131608)
- ❑ ユーザが iPad またはモバイルデバイスを回転させると、グラフが一時的に消失します。(02151691)
- ❑ iPad でユーザが画面の向きを変更すると、動的なサイズ変更に一貫性がなくなります。(02151694)
- ❑ ブックマークの作成時に HYYMDS フィールドが使用されると、FOC177 エラーメッセージが表示されます。(02143910)
- ❑ ダッシュボードをロードする際に、フィルタでドロップダウンリストボックスを使用する場合とリストボックスを使用する場合で、パフォーマンスに違いが生じます。(02142379)
- ❑ wf_retail マスターファイルのカレンダーが 1 日ずれているため、曜日名に誤って前日の曜日が割り当てられます。(02029927)
- ❑ ポータルビューで、BasicUser、AdvancedUser、GroupAdmin ユーザグループに割り当てられたユーザに、非表示に設定されたコラボレーションポータルおよび Designer ポータルが表示されます。(02163065)
- ❑ データアシストで、ファイル名にアンダースコア文字 () を含む COBOL ファイルからシノニムを作成しようとする、エラーメッセージが返される場合があります。(02030538)

- ❑ edasprof.prf ファイルの値を変更後、数値データエントリを再ソートした後に [サンプル 値] ビューに正しい順序で表示されない場合があります。(02028704)
- ❑ NLS を使用してセグメントの長さを増やしてレポートを開くと、HOLD SEGMENT 名がコードと一致しないため、フィールドが見つからないというエラーが表示されます。(02092660、02088727、02111230、02118252)
- ❑ Data Migrator で、SSL 認証を使用するサーバから送信されたアダプタテスト接続リクエストによって、HTTP 401 未承認応答メッセージが返されます。(02033515)
- ❑ REST アダプタで連鎖認証を使用する場合、再接続できません。(02052582)
- ❑ 大文字と小文字が混在する名前の Snowflake データベースにアクセス、またはこのデータベースを使用しようとすると、「そのオブジェクトにアクセスできません」というメッセージが生成されます。(02157813)
- ❑ Data Migrator で、REST アダプタに送信された再認証リクエストが JSON ではなく XML で返されるため、アダプタが応答を停止します。(02154644)
- ❑ Restful API を使用してプロパティに値を割り当てた場合、ユーザはレポートキャッシュ機能を無効にすることができません。(02148782)
- ❑ 言語が日本語に設定され、nlscfg.err ファイルが更新されていない場合、ブラックアウト期間の情報が Distribution Server で文字化けします。(02120166)
- ❑ バージョン 8207.28 以前では、approotConfig.xml ファイルのデフォルト設定により、日本語 (942) コードページの文字が htm および html 出力ファイルで Unicode 置換文字に自動的に置き換えられます。(02117812)
- ❑ 以前のバージョンからインポートされたファイルの名前に丸数字 (①) が含まれる場合、それらは番号順にソートされません。(02121371)
- ❑ パック 10 進数フィールドで FPRINT 関数を使用すると、小数点以下の桁数が正しくなりません。(02126139)
- ❑ HTML5 グラフ拡張のアップロード時に、「構成エラー。不明なグラフタイプ」メッセージが返されます。このエラーは、ブラウザのキャッシュがクリアされるまで続きます。(02035016、02030160、02030563、02127424)
- ❑ Informix アダプタのシノニムを作成すると、[データの取得] ダイアログボックスに「候補オブジェクトが見つかりません」と表示されます。(02146585)

- ❑ WebFOCUS Designer で、レポートを作成してプライマリファイルに基づいてビジュアライゼーションとして保存すると、HOLD ファイルパス参照が foccache パスに変更されます。(02148621、02142300)
- ❑ バージョン 8.2 SP02 で作成された DEFINE および HOLD を含む InfoAssist レポートを編集すると、「ページが応答しません」メッセージが生成され、CPU 使用率が増加します。(02037161)
- ❑ WebFOCUS Client および Reporting Server を 1252、942、949、または 10948 などの Unicode ベースではないコードページを使用するよう構成し、ワークスペースビューのプロシジャ名、または Reporting Server ブラウザインターフェースのアプリケーションビューのアプリケーションディレクトリ名に表示した場合、一部の繁体字中国語および簡体字中国語の文字が疑問符 (?) に置き換えられます。(02126145)
- ❑ TABPAGENO が存在する場合、LAST コマンドを使用した自己参照 COMPUTE ステートメントが正しくなりません。(02116693)
- ❑ バージョン 8207.28.10 以降で、ファイルの存在を確認する STATE コマンドは、期待されるリターンコードのゼロ (0) を返す代わりに、edaprint ログに READ アクセスエラーを生成します。(02156668)
- ❑ ビジネスビューフォルダと同一名のセグメントのサンプルデータを実行すると、セグメントとフィールドのリストが重複します。(02032824、02073742)
- ❑ Microsoft SQL Server アダプタを OLEDB または ODBC とともに使用している場合、Active Directory ユーザから信頼済み ID を渡してテスト用のアクセス権を取得したり、SQL Server バルクローダを使用したりしようとすると、エージェントが応答を停止します。(02167066)
- ❑ ユーザ ID に割り当てられたパスワードの変更を webfocus.cfg ファイルに保存すると、更新されていないパスワードも含め、ファイル内のすべてのパスワードが再暗号化され、更新されていないパスワードが使用できなくなります。(02168713、02170555、02170154、02171642、02173724)
- ❑ 管理コンソールで構成設定に割り当てられた値を更新し、それらを webfocus.cfg ファイルに保存後、バージョン 9.1.1 からバージョン 9.2.0 への更新インストールを実行すると、「WebFOCUS リポジトリにアクセスできません」というメッセージに続いて「WebFOCUS インストールディレクトリのバックアップを作成できません」というメッセージが表示されます。(02173724)
- ❑ REST アダプタを使用すると、SSL 相互認証 (MTLS) が失敗し、「エンドポイントが見つかりません」というメッセージが表示されます。(02152538)

- ❑ OData アダプタを使用すると、SSL 相互認証 (MTLS) が失敗し、「エンドポイントが見つかりません」というメッセージが表示されます。(02152538)
- ❑ Web サービスアダプタを使用すると、SSL 相互認証 (MTLS) が失敗し、「エンドポイントが見つかりません」というメッセージが表示されます。(02152538)
- ❑ InfoAssist Hotfix 8、9、10 を含む WebFOCUS バージョン 9.0.3 のインストールでは、キーフィールド名またはセグメント名の不一致が原因で、ユーザがプロシジャをロードできない場合があります。(02152660)
- ❑ InfoAssist Basic で大規模なマスターファイルに基づくレポートを編集する場合、フィルタの追加や削除などのアクティビティに対する応答が遅くなります。(02111797)
- ❑ WebFOCUS バージョン 9.0.1 および 9.0.2 で、リーフレットマップを有効化後、追加の領域が表示されません。(02119227)
- ❑ 見出しで DBCS が 1067 文字以上に設定されている場合、XLSX 出力フォーマットを使用するレポートが失敗します。(02113137)
- ❑ マルチバイト文字列を使用している場合、InfoAssist グラフに現在の値を保存することができません。(02104512)
- ❑ ARVERSION が 2 に設定されている場合、Active Report フィルタに MISSING 値が表示されません。(02029640、02128990)
- ❑ マルチドリルダウン機能を使用する場合、プラス (+) 文字がエンコードされず、UTF-8 コードページを使用するディスプレイでは表示されません。(02135337)
- ❑ プロシジャファイルで条件を使用する場合、スペース文字 ()、プラス文字 (+)、マイナス文字 (-) の動作が区別されません。ASIS 関数で使用すると、これらの文字は期待どおりに動作します。(02135337)
- ❑ 2 つ以上のフィールドに設定された ACROSSCOLUMN スタイルが、Analytic Document AHTML レポートで期待どおりに表示されません。(02132665、02134379)
- ❑ UTF-8 コードページを使用するよう構成された InfoAssist インストールで、繁体字中国語の文字に基づく DEFINE フィールド名を含むレポートプロシジャを実行しようとする、ページが応答しないことを示すメッセージが返されます。(02159878)
- ❑ マルチドリルダウンを使用する場合、番号記号またはハッシュタグ (#) がエンコードされません。(02134377)
- ❑ App Studio で、プロシジャを .fex または .htm ファイルとして保存しようすると、エラーメッセージが表示されます。(02165234)

- ❑ マルチセットレポートリクエスト内の ACROSS RECOMPUTE ステートメントが、最終的な動詞オブジェクトへの内部列参照を失うため、レポート出力でデータが誤った場所に配置されます。(02150122)
- ❑ FOCUS の 64 ビットバージョンでは、未認可 FOCUSNA モジュールをリンクする JCL が機能しません。(02074776)
- ❑ FOCUS で、大規模な XFOCUS ファイルをロードすると、SOC1 システム異常終了コードが発生する場合があります。(02151448)
- ❑ 複数のプロセスを含むフローを実行すると、Data Migrator デスクトップインターフェースが応答を停止します。(02116640)
- ❑ 255 を超えるパーティションを含むアクセスファイルへのテーブルリクエストにより、FOCSORT エラーメッセージの FOC198 が発生する場合があります。(02148522)
- ❑ Data Migrator で、メタデータ管理の [テキストとして編集] オプションを使用して大規模なマスターファイルのメタデータを編集すると、サーバ HTTP リスナが応答を停止する場合があります。(02159936)
- ❑ ユーザがプロセスフローを開いたり編集したりすると、Reporting Server ブラウザインターフェースが応答しなくなります。(02116640)
- ❑ WebFOCUS Designer の後続のセッションでビジュアライゼーションが参照された場合、一時プレビューフォルダのパス名が HOLD マスターファイルパスに含められるため、データソースが見つからないというメッセージが表示されます。(02165900)
- ❑ WebFOCUS Designer ポータルでは、ユーザメニューが AODA (Accessibility for Ontarians with Disabilities Act) に準拠していませんでした。(02147233)

アップグレードに関する注意事項

- ❑ Microsoft による Internet Explorer 11 のサポートの終了により、App Studio の [出力ビューアの設定] ダイアログボックスの [内部ビューア] オプションが削除されました。Chrome または Edge ブラウザの使用をお勧めします。

注意：[内部ビューア] オプションをオンに戻す必要がある場合は、技術サポートに連絡してください。

- ❑ Java 11 がインストールされている場合、WebFOCUS バージョン 9.2.0 は Solr バージョン 9.1.1 をサポートします。ただし、これはバージョン 9.2.0 には同梱されていません。このバージョンの Solr を使用する場合は、次の手順に従って構成する必要があります。
 1. [ibi-protected] フォルダを、次のようにコピーします。
コピー元 ¥ibi¥WebFOCUS92¥features¥search¥solr9¥
コピー先 ¥ibi¥WebFOCUS92¥Solr¥solr¥server¥solr
 2. [ibi-protected] フォルダをコピーした後、クライアントとサーバのコンテンツを再インデックス化します。
- ❑ バージョン 9.2.0 では、Google BigQuery アダプタは数値データタイプをサポートします。このオプションは、Reporting Server ブラウザインターフェースのデータタイプレポートで表示することができます。
- ❑ WebFOCUS バージョン 9.2.0 では、クロスサイトリクエストフォージェリセキュリティトークン (IBI_CSRF_TOKEN_NAME) 設定に割り当てられるデフォルト値のフォーマットが、IBIWF_SES_AUTH_TOKEN から IBIwfXsrfToken に変更されました。この変更により、ヘッダ名にアンダースコア文字 (_) を使用できないアプリケーションホストサーバでトークンを使用できるようになります。
- ❑ 次の手順は、Liquibase を使用して、バージョン 8.2.06 のリポジトリをバージョン 9.2.0 のリポジトリにアップグレードする方法についての説明です。
 1. 次のフォルダの db_lb_update.bat スクリプトを実行します。
..¥ibi¥WebFOCUS92¥utilities¥dbupdate¥db_lb_update.bat
[Welcome] ウィンドウが開きます。
 2. [liquibase action] として、デフォルト設定の [(u)pdate] を選択します。

```

C:\Windows\system32\cmd.exe

Welcome to the WebFOCUS DB migration tool.

Please select liquibase action:

1) (u)pdate
2) produce update (s)ql script
3) produce (r)ollback sql script
q) quit

Enter selection [default=1] :1_

```

3. Enter キーを押します。
4. 下図のように、データベースリポジトリのユーザ名とパスワード (例、admin) を入力します。

```

C:\Windows\system32\cmd.exe

Welcome to the WebFOCUS DB migration tool.

Please select liquibase action:

1) (u)pdate
2) produce update (s)ql script
3) produce (r)ollback sql script
q) quit

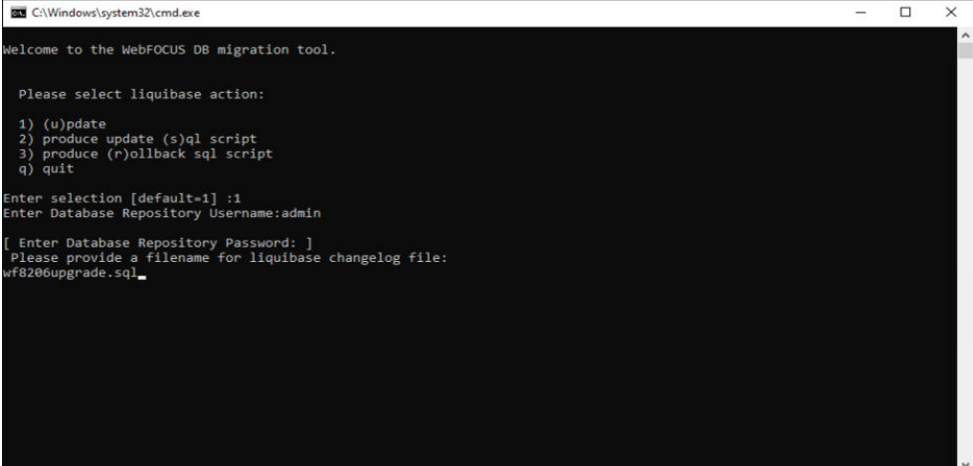
Enter selection [default=1] :1
Enter Database Repository Username:admin
[ Enter Database Repository Password: ]_

```

5. Enter キーを押します。
6. 次のフォルダにある SQL スクリプトファイル名を入力します。

..\ibi¥WebFOCUS92¥utilities¥dbupdate¥lbupdate

たとえば、データベースの権限をアップグレードする場合は、下図のように、Liquibase の wf8206upgrade.sql スクリプトファイルを使用します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
Welcome to the WebFOCUS DB migration tool.

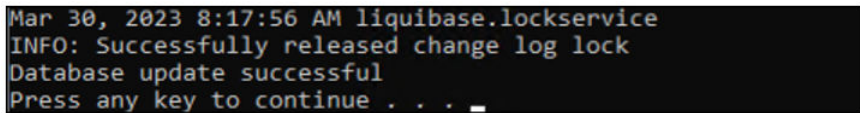
Please select liquibase action:

1) (u)pdate
2) produce update (s)ql script
3) produce (r)ollback sql script
q) quit

Enter selection [default=1] :1
Enter Database Repository Username:admin
[ Enter Database Repository Password: ]
Please provide a filename for liquibase changelog file:
wf8206upgrade.sql_
```

7. Enter キーを押します。

下図のように、アップグレードが完了すると、データベースの更新が成功したことを示すメッセージが表示されます。



```
Mar 30, 2023 8:17:56 AM liquibase.lockservice
INFO: Successfully released change log lock
Database update successful
Press any key to continue . . . _
```

lbupdate ログファイルが、次のフォルダ下に生成されます。

..\¥ibi¥WebFOCUS92¥utilities¥dbupdate¥lbupdate¥log

8. 変更を WebFOCUS に適用するため、Application Server と Distribution Server を再起動します。
 9. WebFOCUS にログインします。
- ❑ WebFOCUS バージョン 9.2.0 では、プロシジャを使用してフィルタを設定し、そのプロシジャベースのフィルタを連鎖構成に含めることができます。プロシジャベースのフィルタ出力から選択されたパラメータにより、次に連鎖されるフィールドで使用可能なパラメータの範囲を決定できます。

既知の問題

- ❑ DEFINE フィールドを使用して生成された URL ドリルダウンを、SET WEBVIEWER ON を使用して AHTML 出力フォーマットで実行すると、最初の行の値のみが渡されます。

3

リリース情報

WebFOCUS® バージョン 9.2.0 の関連情報は、各トピックから参照できます。

トピックス

- ❑ [ブラウザ情報](#)
- ❑ [ibi WebFOCUS のアクセシビリティ準拠](#)
- ❑ [ibi™ WebFOCUS Client でサポートされるオペレーティングシステム](#)
- ❑ [ibi WebFOCUS での Java Platform、Standard Edition \(Java SE\) のサポート](#)
- ❑ [サポート対象の Web サーバおよび Application Server](#)
- ❑ [WebFOCUS Client リポジトリでサポート対象の RDBMS およびドライバ](#)
- ❑ [ローカリゼーション \(NLV\) および NLS の制限事項](#)
- ❑ [ibi WebFOCUS レポート および Microsoft Office のサポート](#)

ブラウザ情報

ここでは、WebFOCUS の各バージョンで使用可能な Web ブラウザについて説明します。

- ❑ 弊社では、ブラウザベンダーのサポートポリシーを評価し、最新バージョンが使用可能になり次第、随時新しいブラウザバージョンを動作保証します。
- ❑ 以下のブラウザベンダー使用要件を参照して、最新の Web ベース機能を提供する Web 標準がサポートされ、セキュリティの保証されたブラウザを使用することをお勧めします。

サポート対象の Web ブラウザ

バージョン	Google Chrome	Firefox	Microsoft Edge (WebFOCUS のみ)
9.2.1	バージョン 114	バージョン 115	バージョン 114
9.2.0	バージョン 111	バージョン 111	バージョン 111
9.1.2	バージョン 114	バージョン 113	バージョン 114

バージョン	Google Chrome	Firefox	Microsoft Edge (WebFOCUS のみ)
9.1.1	バージョン 109	バージョン 108	バージョン 109
9.1.0	バージョン 106	バージョン 105	バージョン 106
9.0.4	バージョン 108	バージョン 107	バージョン 108
9.0.3	バージョン 104	バージョン 103	バージョン 104
9.0.2	バージョン 102	バージョン 100	バージョン 102
9.0.1	バージョン 99	バージョン 98	バージョン 99
9.0.0	バージョン 98	バージョン 96	バージョン 98
8207.28	バージョン 92	バージョン 90	バージョン 92 (WebFOCUS)
8.2.07.27	バージョン 89	バージョン 86	バージョン 89 (WebFOCUS)
8.2.07.26	バージョン 88	バージョン 85	バージョン 87 (WebFOCUS)
8.2.07.25	バージョン 87	バージョン 84	バージョン 87 (WebFOCUS)
8.2.07.24	バージョン 87	バージョン 83	バージョン 87 (WebFOCUS)
8.2.07.23	バージョン 87	バージョン 83	バージョン 86 (WebFOCUS)
8.2.07.22	バージョン 87	バージョン 82	バージョン 86 (WebFOCUS)
8.2.07.21、 8.2.07.20、 8.2.07.19	バージョン 86	バージョン 81	バージョン 85 (WebFOCUS)

バージョン	Google Chrome	Firefox	Microsoft Edge (WebFOCUS のみ)
8.2.07.18、 8.2.07.17	バージョン 85	バージョン 80	バージョン 85 (WebFOCUS)
8.2.07.15、 8.2.07.16	バージョン 84	バージョン 79	バージョン 83 (WebFOCUS)
8.2.07.14、 8.2.07.13、 8.2.07.12	バージョン 83	バージョン 77	バージョン 83 (WebFOCUS)
8.2.07.11	バージョン 83	バージョン 76	バージョン 81 (WebFOCUS)
8.2.07.10、 8.2.07.09	バージョン 81	バージョン 75	バージョン 81 (WebFOCUS)
8.2.07.08	バージョン 81	バージョン 75	バージョン 80 (WebFOCUS)
8.2.07.07	バージョン 80	バージョン 74	バージョン 80 (WebFOCUS)
8.2.07.06	バージョン 80	バージョン 73	バージョン 80 (WebFOCUS)
8.2.07.05	バージョン 80	バージョン 73	バージョン 44 (WebFOCUS)
8.2.07.04、 8.2.07.03、 8.2.07.02	バージョン 79	バージョン 73	バージョン 44 (WebFOCUS)
8.2.07.01	バージョン 78	バージョン 70	バージョン 44 (WebFOCUS)

バージョン	Google Chrome	Firefox	Microsoft Edge (WebFOCUS のみ)
8.2.07	バージョン 77	バージョン 69	バージョン 44 (ウェブフォーカス)

- ❑ バージョン 8.2.07.27.0 以降、ibi™ WebFOCUS の新しいリリースでは、Microsoft Internet Explorer 11 が動作保証済みブラウザとしてサポートされません。この変更は、2021 年 4 月 1 日より有効です。
- ❑ Internet Explorer 互換モードはサポートされません。
- ❑ Firefox ブラウザバージョンサポートについての詳細は、Mozilla から公開されている次の Web サイトを参照してください。 https://wiki.mozilla.org/Release_Management/ESR_Landing_Process
- ❑ WebFOCUS で作成した単純な HTML レポートは、任意のブラウザで表示することができます。
- ❑ 一部のブラウザバージョンで使用可能な組み込み PDF ビューアを使用する際に、ドリルダウンリンクが機能しません。ブラウザの構成情報を確認し、関連するコンテンツタイプのアプリケーションオプション設定を変更することで、ブラウザで自動的に Adobe Reader が起動するよう調整します。
- ❑ Acrobat Reader DC は動作保証されています。Adobe XI および Above X はサポートされています。
- ❑ 特定の状況下では、Microsoft Internet Explorer でページを表示する際に、Web ページで指定されたモードと異なるドキュメントモードでページが強制的に表示される場合があります。詳細は、「[Internet Explorer Browser Document Compatibility](#)」を参照してください。
- ❑ クライアントのブラウザに基づいてイメージ埋め込み機能を使用することにより、HTML レポート、DHTML レポート、DHTML 複合レポートでのイメージおよびグラフの表示がサポートされます。Microsoft Internet Explorer ブラウザで生成される出力、またはブラウザが不明な状況 (例、ReportCaster から配信されるレポート) では、Web アーカイブファイル (.mht) を作成することでイメージが組み込まれます。その他すべてのブラウザでは、イメージは、生成される .html ファイル内で base64 エンコードされます。
- ❑ 特定のブラウザでは、独自の最大バイト数をツールヒントのテキストに適用するため、長いツールヒントは末尾が切り取られて表示される場合があります。たとえば、Microsoft Internet Explorer では、この最大バイト数は 512 バイトですが、Google Chrome では 1024 バイトです。

サポート対象のモバイルブラウザ

WebFOCUS バージョン	iOS バージョン	ブラウザ	WebFOCUS Mobile App バージョン
バージョン 9.1.0 以降	iOS バージョン 15	Safari	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	iOS バージョン 15	Chrome	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	iOS バージョン 14	Safari	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	iOS バージョン 14	Chrome	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	Android バージョン 11	Chrome	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	Android バージョン 10	Chrome	バージョン 4.0.4

ibi WebFOCUS のアクセシビリティ準拠

ibi™ は、障害あるユーザーを含むすべてのユーザーにアクセス可能で使いやすく、質の高い製品とサービスを提供します。

アクセシビリティのサポート基準

ibi™ は、次の基準に基づき WebFOCUS のアクセシビリティを確保します。

弊社のアジャイル開発プロセスは、[WCAG 2.1](#) レベル AA、[改定セクション 508](#)、および [欧州規格 EN 301 549](#) の標準およびガイドラインに沿ったアクセシビリティ評価を、設計、開発、テストのすべての段階で取り入れています。コーディングは、HTML、CSS、WAI-ARIA、JavaScript で W3C 標準に準拠しています。

ibi™ は、アクセシビリティ標準およびガイドラインに準拠したアプリケーションの作成が可能なソフトウェアツールを提供することで、顧客のアクセシビリティ目標達成に貢献します。各アプリケーションの実際のアクセシビリティ準拠は、ibi™ ツールの適切な使用、および弊社ソフトウェアと相互運用する他社製ハードウェアおよびソフトウェアのアクセシビリティ準拠によって異なります。

サービスについて、ibi™ は、顧客と協調し、サービス契約に関するアクセシビリティ要件に取り組んでいます。ibi™ は、必要なアクセシビリティ標準およびガイドラインに準拠する適切な作業指示書で、顧客に対してアクセシビリティ要件を求めます。ibi™ は、顧客の要件に特化した COTS 製品のアクセシビリティ機能を提示し、提示された機能を使用して開発を進める前に顧客の承認を取得します。

適合ステータス

WebFOCUS バージョン 9.1.0 以降は、次のアクセシビリティ標準およびガイドラインに部分的に適合しています。部分的適合とは、コンテンツの一部がアクセシビリティ標準に完全に適合していないことを示します。

標準およびガイドライン	レポート内に記載
Web Content Accessibility Guidelines 2.0	レベル A レベル AA
Web Content Accessibility Guidelines 2.1	レベル A レベル AA
Revised Section 508 standards published 01/18/2017 and corrected 01/22/2018	
EN 301 549 Accessibility requirements suitable for publish procurement of ICT products and services in Europe - V3.1.1. (2019-11)	

アクセシビリティ機能の範囲

WebFOCUS バージョン 8.2.07.26 以降では、Designer ページおよび WebFOCUS アクセシブル レポートを含む、アクセシビリティ機能を備えた WebFOCUS の 2 レベルトップナビゲーション V5 ポータルを作成、公開するためのツールとガイダンスを設計者に提供し、エンドユーザーによる独自の adhoc クエリおよびレポート作成の実行を可能にします。アクセシビリティ機能には、コンテンツ作成 (開発) および管理インターフェースは含まれません。

アクセシビリティ機能を備えた WebFOCUS レポートには、次のフォーマットがあります。

- ☐ Analytic Document (Active テクノロジ) - AHTML
- ☐ Excel - XLSX
- ☐ PowerPoint - PPTX
- ☐ HTML - 「[Technical Memo 4505](#) - WebFOCUS HTML レポートのアクセシビリティサポート」を参照

アクセシビリティ機能を備えた WebFOCUS レポートは、Web ページまたはアプリケーションから配信、実行できます。Web ページまたはアプリケーションのアクセシビリティ準拠については、設計者が責任を負います。

WebFOCUS バージョン 8.2.07.12 以前の 8.2.07 リリースでは、次の WebFOCUS アクセシビリティ準拠レポートフォーマットがサポートされます。

- ☐ HTML - 「[Technical Memo 4505](#) - WebFOCUS HTML レポートのアクセシビリティサポート」を参照

ブラウザ互換性および支援テクノロジー

テストは、さまざまなオペレーティングシステム、ブラウザ、テスト自動化ツール、スクリーンリーダーを使用して実行されました (例、Windows 10 オペレーティングシステム、Google Chrome ブラウザ、NVDA または JAWS 2020 スクリーンリーダー)。

Google Chrome、Firefox、Microsoft Edge、Microsoft Internet Explorer ブラウザについては、ユーザーのカスタマイズ、支援テクノロジーおよび他社製拡張機能との統合によりサポートレベルが異なります。

JAWS ブラウザ要件についての詳細は、[Freedom Scientific](#) の Web サイトを参照してください。

テクノロジー仕様

WebFOCUS のアクセシビリティは、次の技術に依存し、Web ブラウザおよび支援テクノロジー、またはユーザの PC にインストールされたプラグインとの特定の組み合わせにより機能します。

- ☐ HTML
- ☐ WAI-ARIA
- ☐ CSS
- ☐ JavaScript

上記のテクノロジーは、適用されるアクセシビリティ標準に準拠するために使用されます。

制限事項

WebFOCUS のアクセシビリティ機能を確実に利用できるよう万全を期していますが、一部に制限事項があることも考えられます。アクセシビリティ機能の使用に問題がある場合は、技術サポートに問い合わせてください。また、追加機能に対するアクセシビリティ準拠のリクエストについても、技術サポートに問い合わせてください。

既知の制限事項

- ☐ **アクセシビリティ機能** 機能の範囲は、上記の「適合ステータス」に記載されているとおりです。
- ☐ **非テキストコンテンツ、代替テキスト** WebFOCUS 8.2.07 以降では、コンテンツ作成者に代替テキストを追加する方法を提供し、このコンテンツはスクリーンリーダーで読み取られます。ただし、説明的代替テキストの提供は、コンテンツ作成者に委ねられます。
- ☐ **感覚的情報 (ビジュアライゼーション/グラフ)** アクセシビリティのベストプラクティス準拠は、コンテンツ作成者に委ねられますが、WebFOCUS 8.2.07 以降では、今後のリリースで、ビジュアライゼーションおよびグラフでの感覚的情報の伝達について、強化された代替方法を提供します。
- ☐ **リフロー** データテーブルは、テーブルとして動作し、リフローされません。
- ☐ **見出しおよびラベル** WebFOCUS 8.2.07 以降では、適切な見出しおよびラベルを追加する方法をコンテンツ作成者に提供し、このコンテンツは、スクリーンリーダーで読み取られます。ただし、ベストプラクティスの導入によるアクセシビリティの維持は、コンテンツ作成者に委ねられます。
- ☐ **一部の言語** 言語は、メタレベルでドキュメントに適用されます。

- ❑ **機能的遂行基準 (言語障害、認知障害、学習障害)** WebFOCUS 8.2.07 以降のデータテーブルは複雑であり、拡張機能を提供します。対象ユーザの機能上の要件を特定し、WebFOCUS レポートプロシジャ作成時にこれらの考慮事項を適用することは、コンテンツ作成者の責任です。
- ❑ **利用可能な操作の全般 (情報) リスト** V5 ポータル、Designer ページ、Analytic Document (AHTML) では、利用可能な操作は「Ctrl+Shift+F10」を押すとアクセスできます。
- ❑ **変更通知** オンラインヘルプの今後のリリースで改善される予定です。
- ❑ **製品マニュアル** [オンラインヘルプ] セクションのアクセシビリティは、今後のリリースで改善され、利用可能になります。現在のバージョンでは、次のような問題が発生する可能性があります。
 - ❑ 拡大表示での判読性の低下
 - ❑ 左側ウィンドウから右側ウィンドウへの移動困難
 - ❑ 印刷メニューのポップアップが、Esc キーの使用またはポインタの移動でも閉じることができない

ibi™ WebFOCUS Client でサポートされるオペレーティングシステム

下表は、WebFOCUS Client でサポートされるオペレーティングシステムを示しています。

ベンダー (プロセッサ/アーキテクチャ)	オペレーティングシステムバージョン
Microsoft Windows 64 ビット	Windows Server 2022、2019
	Oracle Java 8 をマシンにインストールする必要があります。詳細は、製品のインストールマニュアルを参照してください。
	Windows Server 2016、2012 R2、2012
	Windows 11、10 (開発環境のみに限定)
IBM (pSeries 64)	AIX 7.2、AIX 7.1

ベンダー (プロセッサ/アーキテクチャ)	オペレーティングシステムバージョン
Oracle (Sparc 64-bit)	Oracle Solaris 11
	Oracle Solaris 10
Oracle (x86)	Oracle Solaris 11
	Oracle Solaris 10
Red Hat (x86_64)	Red Hat Enterprise Linux 9.1: 5.14.0-162.6.1.el9_1.x86_64 以降 - glibc-2.34-40.el9_1.1.i686
	Red Hat Enterprise Linux 8.6: 4.18.0-305.el8.x86_64 以降 - glibc-2.28-189.5.el8_6.i686
	Red Hat Enterprise Linux 7: 3.10.0-123.el7.x86_64 以降 - glibc-2.17-36.el7.i686
	Red Hat Enterprise Linux 7: 3.10.0-123.el7.x86_64 以降 - glibc-2.17-36.el7.i686
Red Hat (IBM Power Systems)	Red Hat Enterprise Linux 7: 3.10.0-123.el7.x86_64 以降 - glibc-2.17-36.el7.i686
Hewlett Packard (Itanium IA64)	HP-UX 11i (11.31)

ibi WebFOCUS での Java Platform、Standard Edition (Java SE) のサポート

ここでは、WebFOCUS および ReportCaster Web アプリケーションの展開先としてサポートされる各種 Java SE バージョンの WebFOCUS リリース情報について説明します。また、Java ソフトウェアをインストールまたはアップグレードする前に、Web アプリケーションサーババージョンの Java バージョン要件を確認することも重要です。

注意事項

- ❑ Java SE の同一バージョンレベルでのメンテナンスアップデートもサポートされます。
- ❑ 新しい JDK バージョンと WebFOCUS の以前のバージョンとの使用はサポートされます。
ただし、一部の問題を解決するために、新しいバージョンの WebFOCUS または JDK サービスパックへのアップグレードが必要になる場合があります。
- ❑ 新しい Java SE メジャーリリースのサポートには動作保証が必要なため、下表で明記されていない限り、現時点ではサポートされません。
- ❑ 「動作保証済み」と記述されている場合、指定された リリース QA (品質保証) の動作保証プロセスで、指定された Java バージョンがテストされたことを示します。

動作保証済みまたはサポート対象の Java バージョンで問題が発生した場合は、技術サポートに連絡してください。

WebFOCUS バージョン 8.2.07 以降では、WebFOCUS および ReportCaster Web アプリケーションの展開先 Application Server に適用される JVM バージョンの最低要件は、JVM バージョン 8 です。

Java SE バージョンの動作保証ステータス このバージョンでは、Oracle および OpenJDK の Java 8 および Java 11 バージョンが動作保証されています。

サポート対象の Web サーバおよび Application Server

ベンダーの Web サーバおよび Application Server	バージョン
Apache Software Foundation (Apache Tomcat)	9
Apache Software Foundation (Apache HTTP)	2.4 2.2
IBM HTTP Server	8.5.5
IBM WebSphere	9
Microsoft (IIS)	10 以降
Oracle WebLogic	12c (12.2.2.1、12.1.3.0.0)

ベンダーの Web サーバおよび Application Server		バージョン
Red Hat (JBoss)		Enterprise Application Platform 7.1.3

WebFOCUS Client リポジトリでサポート対象の RDBMS およびドライバ

ベンダー (RDBMS)	バージョン	JDBC ドライバ
Apache Software Foundation (Apache HTTP)	10.9.1.0	derbyclient.jar
Microsoft (MS SQL Server)	2022	Microsoft JDBC Driver 12.2 for SQL Server mssql-jdbc-12.2.0.jre8.jar mssql-jdbc-12.2.0.jre11.jar Microsoft JDBC Driver 11.2 for SQL Server mssql-jdbc-11.2.0.jre8.jar mssql-jdbc-11.2.0.jre11.jar mssql-jdbc-11.2.0.jre17.jar mssql-jdbc-11.2.0.jre18.jar

ベンダー (RDBMS)	バージョン	JDBC ドライバ
Microsoft (MS SQL Server) (続き)	2022 (続き)	Microsoft JDBC Driver 10.2 for SQL Server mssql-jdbc-10.2.0.jre8.jar mssql-jdbc-10.2.0.jre11.jar mssql-jdbc-10.2.0.jre17.jar Microsoft JDBC Driver 9.4 for SQL Server mssql-jdbc-9.4.1.jre8.jar mssql-jdbc-9.4.1.jre11.jar mssql-jdbc-9.4.1.jre16.jar Microsoft JDBC Driver 9.2 for SQL Server mssql-jdbc-9.2.1.jre8.jar mssql-jdbc-9.2.1.jre11.jar mssql-jdbc-9.2.1.jre15.jar
	2019	Microsoft JDBC Driver 8.4 for SQL Server mssql-jdbc-8.4.1.jre14.jar mssql-jdbc-8.4.1.jre11.jar mssql-jdbc-8.4.1.jre8.jar Microsoft JDBC Drive 8.2 for SQL Server mssql-jdbc-8.2.2.jre13.jar mssql-jdbc-8.2.2.jre11.jar mssql-jdbc-8.2.2.jre8.jar Microsoft JDBC Drive 7.4 for SQL Server mssql-jdbc-7.4.1.jre12.jar mssql-jdbc-7.4.1.jre11.jar mssql-jdbc-7.4.1.jre8.jar

Microsoft (MS SQL Server) (続き)	2017	mssql-jdbc-6.2.2.jre8.jar ダウンロードは、「 https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=55539 」から可能です。
	2016 2014 2012 2008	mssql-jdbc-6.2.2.jre8.jar ダウンロードは、「 https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=55539 」から可能です。 sqljdbc42.jar ダウンロードは、「 https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=54671 」から可能です。
IBM (Db2)	11.5 10.5 9.7 FP4	db2jcc4.jar
Oracle (Database)	21c	ojdbc11.jar
	19c 18c 12c Release 2	ojdbc8.jar
	12c Release 1	ojdbc7.jar
	11g Release 2	ojdbc6.jar
Oracle (MySQL)	8.0.x 5.7.x 5.6.x	mysql-connector- java-8.0.29.jar

Postgresql	13.6	postgresql-42.5.0.jar
	11.1	
	10.7	
	9.6.x	
	9.5.x	

ローカリゼーション (NLV) および NLS の制限事項

ibi WebFOCUS および App Studio では、一部の選別された言語で国際言語サポートおよびローカライズ版サポートが提供されています。その他の言語に関しては、技術サポートに新機能リクエストを送信することができます。

国際言語サポート (NLS)

国際言語サポート (NLS) は、さまざまな国際言語の文字セットを表すコードページで格納されたデータの読み取りと変換に必要です。ibi™ 独自の NLS API コードページアーキテクチャにより、アプリケーションクライアントとサーバコンポーネント間でデータがコード変換され、ソート処理、大文字小文字の変換、日付、通貨、数値の変換のすべてが管理されます。

ローカライズ版のサポート (NLV)

ローカライズ版は、ユーザインターフェース (例、メニュー、ユーティリティ) が特定の言語で表示されるソフトウェア製品です。ローカライズ版のインターフェースの配列は、すべての言語で共通です。ボタンやメニューの選択項目は、常に製品内の同一位置に表示され、ラベルのテキストのみが異なります。そのため、特定の言語で ibi™ 製品を使い慣れたユーザは、その製品を別の言語でも簡単に操作することができます。

ローカライズ版では、完全な国際言語サポート (NLS) 機能が提供されます。サポートされている任意の言語のデータにアクセスし、すべての国際言語文字を処理、表示、印刷することができます。

ibi WebFOCUS および ibi WebFOCUS Reporting Server

WebFOCUS Reporting Server バージョンでは、データ処理で次のコードページがサポートされます。

ASCII プラットフォーム

137 - 英語 (米国)/西ヨーロッパ (Latin 1)	923 - Latin 9 (ISO 8859-15)
437 - 英語 (米国)	942 - 日本語 (shift-JIS)
813 - ギリシャ語 (ISO 8859-7)	946 - 中国語 (簡体字)
850 - 西ヨーロッパ言語	949 - 韓国語
852 - 中央ヨーロッパ言語	1089 - アラビア語 (ISO 8859-6)
857 - トルコ語	1250 - 中央ヨーロッパ言語 (Latin 2)
860 - ポルトガル語	1251 - キリル文字 (Windows)
862 - ヘブライ語	1252 - Windows (Latin 1)
863 - フランス語 (カナダ)	1253 - ギリシャ語 (Windows)
865 - 北欧ゲルマン系言語	1254 - トルコ語 (Windows)
866 - キリル文字 II	1255 - ヘブライ語 (Windows)
869 - ギリシャ語	1256 - アラビア語 (Windows)
912 - 中央ヨーロッパ言語 (ISO 8859-2)	1257 - バルト沿岸諸国言語 (Windows)
915 - キリル文字 (ISO 8859-5)	10942 - 日本語 (EUC)
916 - ヘブライ語 (ISO 8859-8)	10948 - 中国語 (繁体字)
920 - トルコ語 (ISO 8859-9)	65001 - Unicode (UTF-8)
921 - バルト語 (ISO 8859-13)	

言語

LANGUAGE パラメータは、国際言語サポート (NLS) の環境を指定します。このパラメータは、サーバのエラーメッセージに使用する言語を設定します。また、マスターファイルに別の言語の TITLE 属性が含まれている場合に、レポートタイトルに使用する言語をこのパラメータで設定することもできます。

Web コンソール、Data Migrator およびデータ管理コンソールでは、次の言語がサポートされます。

(* ローカライズ版)

- ☐ 英語 (米国)
- ☐ 英語 (オーストラリア)*
- ☐ アラビア語
- ☐ ポルトガル語 (ブラジル)
- ☐ 英語 (カナダ)*
- ☐ クロアチア語
- ☐ チェコ語
- ☐ デンマーク語
- ☐ オランダ語
- ☐ 英語
- ☐ エストニア語
- ☐ フィンランド語
- ☐ フランス語*
- ☐ ドイツ語*
- ☐ ギリシャ語
- ☐ ヘブライ語
- ☐ ハンガリー語
- ☐ イタリア語
- ☐ 日本語*

- ☐ 韓国語
- ☐ ラトビア語
- ☐ リトアニア語
- ☐ ノルウェー語
- ☐ ポーランド語
- ☐ ポルトガル語
- ☐ ルーマニア語
- ☐ ロシア語
- ☐ 中国語 (簡体字)*
- ☐ スロバキア語
- ☐ スペイン語*
- ☐ スウェーデン語
- ☐ 中国語 (繁体字)*
- ☐ タイ語
- ☐ トルコ語
- ☐ 英語 (イギリス)

ibi WebFOCUS Client および ReportCaster

WebFOCUS Client および ReportCaster では、次のローカライズ版がサポートされます。

次の言語は、翻訳および動作保証プロセスが完了しています。

グループ 1 (完全翻訳)

- ☐ 英語 (オーストラリア、カナダ、英国、米国)
- ☐ フランス語 (カナダおよび標準)
- ☐ ドイツ語
- ☐ スペイン語

グループ 2 (部分翻訳)

次の言語では、特定のエリアのみで翻訳およびテストが完了しています。未翻訳のテキストは英語で表示されます。

- ☐ 中国語 (簡体字)
- ☐ ポルトガル語 (ブラジル)
- ☐ イタリア語
- ☐ 日本語

グループ 3 (評価中)

次の言語では、特定のエリアのみで翻訳およびテストが完了しています。未翻訳のテキストは英語で表示されます。この言語を有効にする場合は、技術サポートに問い合わせてください。

- ☐ 韓国語

ibi WebFOCUS レポート および Microsoft Office のサポート

ここでは、Microsoft Office 製品で出力を生成する WebFOCUS レポートフォーマットのサポートについて説明します。また、WebFOCUS でセキュリティ保護されたプロシジャに動的ドリルダウンリクエストを実行するハイパーリンクの注意事項についても説明します。

TIBCO WebFOCUS レポートフォーマットおよび Microsoft 製品との関連付け

下表は、Microsoft Excel および PowerPoint のレポートを作成する WebFOCUS のフォーマット、Microsoft Office のアプリケーション関連付け情報、および対応する Windows オペレーティングシステムのバージョンを示しています。

WebFOCUS フォーマット	Microsoft Office 製品	Windows オペレーティングシステム
XLSX	Microsoft Office 365、Microsoft Office 2016、2019	Windows 10
	Microsoft Office 2016、2013、2010、2007	Windows 8
	Microsoft Excel Viewer 2007	Windows 7

WebFOCUS フォーマット	Microsoft Office 製品	Windows オペレーティングシステム
PPTX	Microsoft Office 365、Microsoft Office 2016、2019 Microsoft Office 2016、2013、2010、2007 Microsoft PowerPoint Viewer 2010	Windows 10 Windows 8 Windows 7
EXL2K (機能固定リソース)	Microsoft Office 2003、2000	Windows XP Windows 2000
PPT (機能固定リソース)	Microsoft Office 2003、2000	Windows XP Windows 2000

Windows オペレーティングシステムで利用できる Microsoft Office のバージョンについての詳細は、「[Get Windows 10 App](#)」を参照してください。各 PC に対応する互換性レポートおよび PC、オンボードデバイス、アプリケーションの統合互換表示が参照できます。

TIBCO WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマットおよび Microsoft Office 製品のサポート

ファイルタイプおよび Microsoft が導入したコンテンツセキュリティポリシーにより、WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマットは Microsoft Office 2013 以降サポートされません。WebFOCUS の XLSX、PPTX フォーマットは、Microsoft Excel XLSX、Microsoft PowerPoint PPTX のファイルタイプおよび Office 2013 以降のコンテンツセキュリティポリシーを完全にサポートします。

Microsoft Office 2003 のサポート

「[Get Windows 10 App](#)」を参照してください。各 PC に対応する互換性レポートおよび PC、オンボードデバイス、アプリケーションの統合互換表示が参照できます。WebFOCUS 製品は、Microsoft Office 2003 のアプリケーションでも起動および使用が可能ですが、Microsoft では継続してサポートやアップデートに対応できるよう Office の新しいバージョンへのアップグレードを推奨しています。Windows XP で Office 2003 を使用する場合は、Microsoft Office 2003 および Windows XP SP3 のサポート終了についての詳細を、「[Support for Windows XP ended](#)」で確認してください。

新しいバージョンの Microsoft Excel および PowerPoint で作成したドキュメント、ブック、プレゼンテーションの開始 (ファイルを開く)、編集、保存についての詳細は、「[Microsoft Office Compatibility Pack for Word, Excel, and PowerPoint File Formats](#)」を参照してください。

TIBCO WebFOCUS EXL2K および PPT フォーマットと Microsoft Office Viewer 製品のサポート

Microsoft Excel Viewer および PowerPoint Viewer は読み取り専用の製品です。これらの製品では、Microsoft Excel および PowerPoint のデータの表示と印刷のみが可能です。WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマットのレポートは、バージョンにかかわらず Microsoft Excel Viewer および Microsoft PowerPoint Viewer ではサポートされません。WebFOCUS の XLSX、PPTX フォーマットのレポートは、それぞれ Microsoft Excel Viewer と Microsoft PowerPoint Viewer でサポートされており、表示が可能です。

Microsoft は、古いバージョンの Microsoft Excel および Microsoft PowerPoint Viewer のサポート終了を発表しています。サポートされる Microsoft Office Viewer 製品のバージョンについての詳細は、「[Supported versions of the Office viewers](#)」を参照してください。Microsoft Office Viewer は、「[Microsoft Download Center](#)」からダウンロードすることができます。

Microsoft Office 365 のサポート

Microsoft Office 365 は、Microsoft Excel および PowerPoint 2013 のローカルインストール機能を提供します。Office 2010 に対応し、Office 2007 の一部機能にも対応しています。Microsoft Office 365 では、Office Online を使用してほとんどのデバイスからアクセス可能なクラウドに Microsoft Excel および PowerPoint のファイルをアップロードすることもできます。Microsoft Office 365 についての詳細は、「[Office 365 for business FAQ](#)」を参照してください。

Microsoft Office 365 を使用して、WebFOCUS の XLSX および PPTX フォーマットのレポートにアクセスすることができます。最初に、HOLD ファイルとして XLSX および PPTX レポートをローカルに作成するか、PCHOLD コマンドを使用してレポートを画面に表示し、ローカルディレクトリに保存します。保存したファイルは、OneDrive for Business にアップロード、保存されます。クラウドにアップロード済みのファイルには、Office Online を使用してアクセスすることができます。

Excel Online、PowerPoint Online および Microsoft Office 2013 で使用可能な機能の違いについての詳細は、「[Office Online Service Description](#)」を参照してください。

Office Online および OneDrive for Business の使用についての詳細は、「[Using Office Online in OneDrive](#)」を参照してください。

ハイパーリンクを使用してレポートを実行する際の注意事項

WebFOCUS レポートでハイパーリンクを選択し、ドリルダウンリクエストから WebFOCUS のセキュアな Web 環境でプロシジャを実行するには、セキュリティコンテキストまたはセッション関連 Cookie の継承が必要です。Microsoft Office 製品は、Web ベースのアプリケーションが作成したセキュリティコンテキストまたはセッション関連 Cookie を継承しません。

次のオプションは、WebFOCUS レポートのハイパーリンクが Microsoft Office 製品内で機能するよう Web 環境を構成するために使用されます。

- ❑ 匿名アクセスを許可するよう WebFOCUS 認証を構成する。
- ❑ SSO を IIS/Tomcat Windows 統合認証とともに使用する。再ネゴシエーションが自動的に発生し、Excel および PowerPoint レポートが正しく表示されます。
- ❑ WebFOCUS バージョン 8 では、[ログイン] ページの [ユーザを記憶する] 機能を有効にすることができます。エンドユーザが [ユーザを記憶する] 機能を使用した場合、永続 Cookie が使用されます。Microsoft Office 製品のセッション関連情報の処理についての詳細は、[「Error message when clicking hyperlink in Office: "Cannot locate the Internet server or proxy server」](#)を参照してください。

TIBCO WebFOCUS の DOC フォーマット

WebFOCUS ドキュメントのスタイルフォーマットおよび印刷可能なフォーマットの標準は、Acrobat PDF フォーマットです。WebFOCUS の PDF フォーマットは、Acrobat PDF ドキュメントを作成します。WebFOCUS DOC フォーマットは、Microsoft Word ドキュメントではなく、文字ベースのファイルを生成します。

Legal and Third-Party Notices

SOME TIBCO SOFTWARE EMBEDS OR BUNDLES OTHER TIBCO SOFTWARE. USE OF SUCH EMBEDDED OR BUNDLED TIBCO SOFTWARE IS SOLELY TO ENABLE THE FUNCTIONALITY (OR PROVIDE LIMITED ADD-ON FUNCTIONALITY) OF THE LICENSED TIBCO SOFTWARE. THE EMBEDDED OR BUNDLED SOFTWARE IS NOT LICENSED TO BE USED OR ACCESSED BY ANY OTHER TIBCO SOFTWARE OR FOR ANY OTHER PURPOSE.

USE OF TIBCO SOFTWARE AND THIS DOCUMENT IS SUBJECT TO THE TERMS AND CONDITIONS OF A LICENSE AGREEMENT FOUND IN EITHER A SEPARATELY EXECUTED SOFTWARE LICENSE AGREEMENT, OR, IF THERE IS NO SUCH SEPARATE AGREEMENT, THE CLICKWRAP END USER LICENSE AGREEMENT WHICH IS DISPLAYED DURING DOWNLOAD OR INSTALLATION OF THE SOFTWARE (AND WHICH IS DUPLICATED IN THE LICENSE FILE) OR IF THERE IS NO SUCH SOFTWARE LICENSE AGREEMENT OR CLICKWRAP END USER LICENSE AGREEMENT, THE LICENSE(S) LOCATED IN THE "LICENSE" FILE(S) OF THE SOFTWARE. USE OF THIS DOCUMENT IS SUBJECT TO THOSE TERMS AND CONDITIONS, AND YOUR USE HEREOF SHALL CONSTITUTE ACCEPTANCE OF AND AN AGREEMENT TO BE BOUND BY THE SAME.

This document is subject to U.S. and international copyright laws and treaties. No part of this document may be reproduced in any form without the written authorization of Cloud Software Group, Inc.

TIBCO, the TIBCO logo, the TIBCO O logo, ibi, ibi logo, ActiveMatrix BusinessWorks, TIBCO Administrator, BusinessConnect, TIBCO Designer, Enterprise Message Service, Hawk, and Maporama are either registered trademarks or trademarks of Cloud Software Group, Inc. in the United States and/or other countries.

Java and all Java based trademarks and logos are trademarks or registered trademarks of Oracle Corporation and/or its affiliates.

This document includes fonts that are licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1, which is available at: <https://scripts.sil.org/OFL>

Copyright (c) Paul D. Hunt, with Reserved Font Name Source Sans Pro and Source Code Pro.

All other product and company names and marks mentioned in this document are the property of their respective owners and are mentioned for identification purposes only.

This software may be available on multiple operating systems. However, not all operating system platforms for a specific software version are released at the same time. See the readme file for the availability of this software version on a specific operating system platform.

THIS DOCUMENT IS PROVIDED "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT.

THIS DOCUMENT COULD INCLUDE TECHNICAL INACCURACIES OR TYPOGRAPHICAL ERRORS. CHANGES ARE PERIODICALLY ADDED TO THE INFORMATION HEREIN; THESE CHANGES WILL BE INCORPORATED IN NEW EDITIONS OF THIS DOCUMENT. CLOUD SOFTWARE GROUP, INC. MAY MAKE IMPROVEMENTS AND/OR CHANGES IN THE PRODUCT(S) AND/OR THE PROGRAM(S) DESCRIBED IN THIS DOCUMENT AT ANY TIME.

THE CONTENTS OF THIS DOCUMENT MAY BE MODIFIED AND/OR QUALIFIED, DIRECTLY OR INDIRECTLY, BY OTHER DOCUMENTATION WHICH ACCOMPANIES THIS SOFTWARE, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY RELEASE NOTES AND "READ ME" FILES.

This and other products of Cloud Software Group, Inc. may be covered by registered patents. Please refer to TIBCO's Virtual Patent Marking document (<https://www.tibco.com/patents>) for details.

Copyright © 2023. Cloud Software Group, Inc. All Rights Reserved.